

**長野県民の結婚・出産・子育て  
に関する調査**

**報告書**

**平成 30 年 10 月**

**長野県将来世代応援県民会議**

## 目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査設計.....	1
(3) 回答者基本属性.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 婚姻状況.....	2
(2) 独身者の結婚に対する意識.....	3
(3) 既婚者の結婚生活の状況.....	20
(4) 働き方に関する現状.....	24
(5) 出産や子育てに関する意識と現状.....	31
附属資料（調査票）.....	58

### ＜報告書の見方＞

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0 の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報	
比率の差の検定 対TOTAL行と比較した結果を数表に表示 ※経年比較の場合は、対平成30年度調査(今回調査)と比較	有意水準 5%で高い
	有意水準 5%で低い

- 女性18～34歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる問である。「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{希望出生率} &= (\text{女性18～34歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\
 &+ \text{女性18～34歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\
 &\times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\
 &\times \text{離死別等の影響}
 \end{aligned}$$



# 1. 調査概要

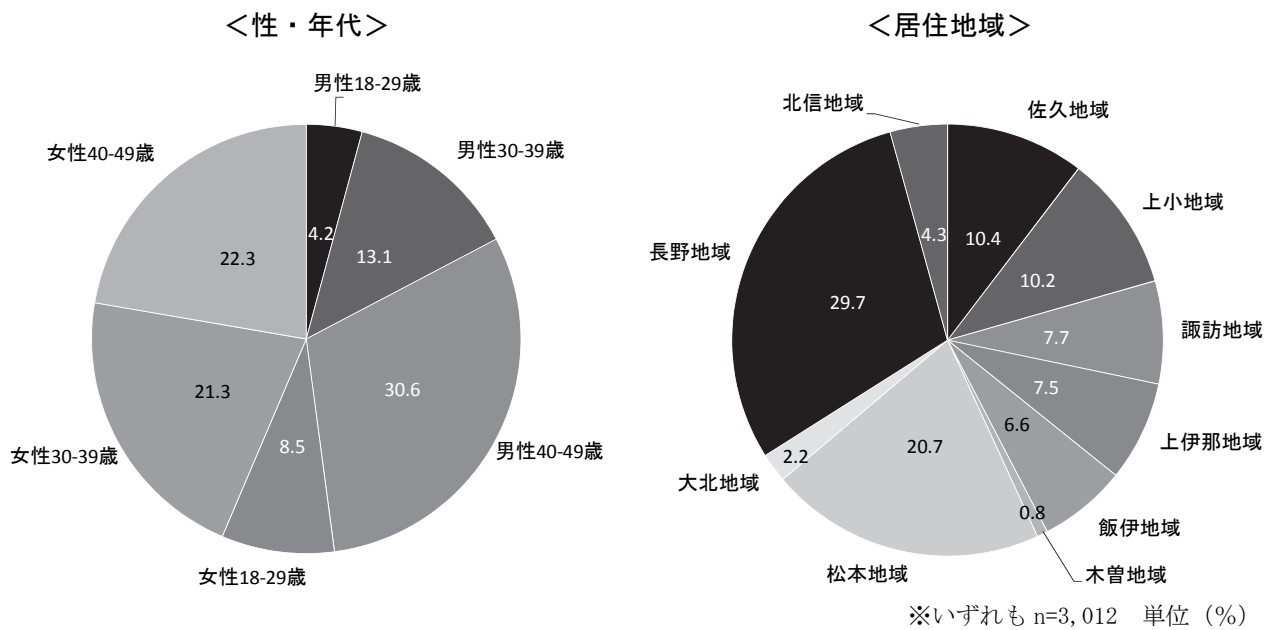
## (1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合5か年計画）」、「長野県子ども・若者支援総合計画」等の評価指標の検証に活用する。

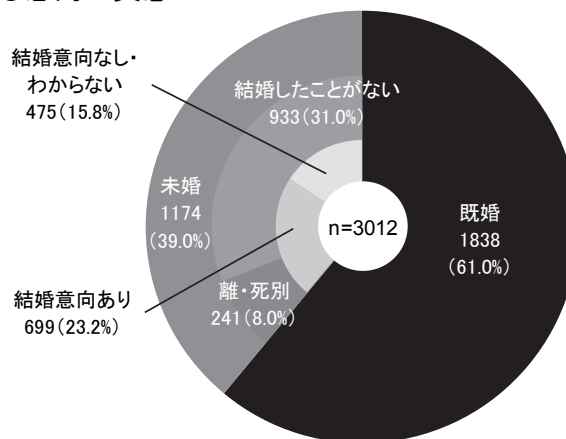
## (2) 調査設計

調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニター（マイティモニター）より抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,012
調査実施時期	平成30年8月2日～平成30年8月6日

## (3) 回答者基本属性



## (4) 回答者の結婚等に対する意向・実態



## 2. 調査結果

### (1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

既婚者の割合は61.0%、独身者の割合は39.0%である。

10・20代及び30代では女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。40代は男女とも7割弱(男性:66.7%、女性:64.9%)が既婚である。

■ 現在、結婚(事実婚を含む)している   ■ 結婚していたが、現在は離・死別した   ■ 結婚したことはない

		n=	(%)		
	TOTAL	3012	61.0	8.0	31.0
* 性年代	■ 男性 計	1443	60.5	6.4	33.1
	10・20代	126	19.8	1.6	78.6
	30代	396	59.1	5.1	35.9
	40代	921	66.7	7.6	25.7
	■ 女性 計	1569	61.5	9.5	29.0
	10・20代	255	35.3	5.1	59.6
	30代	642	68.4	4.8	26.8
	40代	672	64.9	15.6	19.5

(2) 独身者の結婚に対する意識

問5 あなたのご両親と現在のあなたとの同居／別居についてうかがいます。(回答は1つ)

【回答者：独身者】

独身者のうち、父親と同居しているのは49.3%、徒歩で30分程度の別居(近居)は11.8%である。また、母親と同居しているのは60.0%、徒歩で30分程度の別居(近居)は13.3%である。

性・年代別にみると、女性40代では同居の割合は低く、徒歩で30分程度の別居(近居)の割合が高い。

① 父親との同居状況

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いない

		n=	(% )			
	TOTAL	1174	49.3	11.8	17.9	21.0
* 性年代	■男性 計	570	49.6	7.9	20.0	22.5
	10・20代	101	43.6	7.9	30.7	17.8
	30代	162	58.6	10.5	19.1	11.7
	40代	307	46.9	6.5	16.9	29.6
	■女性 計	604	49.0	15.6	15.9	19.5
	10・20代	165	54.5	12.1	18.8	14.5
	30代	203	60.6	14.8	13.8	10.8
	40代	236	35.2	18.6	15.7	30.5

② 母親との同居状況

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いない

		n=	(% )			
	TOTAL	1174	60.0	13.3	18.1	8.6
* 性年代	■男性 計	570	59.6	10.4	20.9	9.1
	10・20代	101	53.5	7.9	29.7	8.9
	30代	162	65.4	11.7	17.3	5.6
	40代	307	58.6	10.4	19.9	11.1
	■女性 計	604	60.3	16.1	15.6	8.1
	10・20代	165	65.5	10.3	18.2	6.1
	30代	203	67.5	11.3	16.7	4.4
	40代	236	50.4	24.2	12.7	12.7

**問6 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)**  
**【回答者：独身者】**

独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が35.0%、「2・3年以内に結婚したい」が9.9%である。「すでに結婚する予定がある」、「すぐにでも結婚したい」と合わせると、6割(59.5%)は結婚意向があると回答している。

「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向は79.3%となり、性・年代別にみると、女性10・20代の結婚意向が最も高く(88.6%)、女性40代の結婚意向が最も低い(55.8%)。

また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向は87.9%となった。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

	n=	(%)					
TOTAL	1174	4.0	10.6	9.9	35.0	15.6	24.9

＜「わからない」の回答を除いた場合＞

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

		n=	(%)				
TOTAL		882	5.3	14.2	13.2	46.6	20.7
* 性年代	■男性 計	414	3.6	15.0	11.8	51.4	18.1
	10・20代	73	8.2	2.7	13.7	60.3	15.1
	30代	127	1.6	15.0	15.0	54.3	14.2
	40代	214	3.3	19.2	9.3	46.7	21.5
	■女性 計	468	6.8	13.5	14.3	42.3	23.1
	10・20代	149	8.1	13.4	18.8	48.3	11.4
	30代	165	9.7	16.4	18.2	41.8	13.9
	40代	154	2.6	10.4	5.8	37.0	44.2

＜女性18-34歳の場合＞（希望出生率の算出根拠）

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

	n=	(%)				
女性18-34歳	239	9.6	13.0	20.5	44.8	12.1

結婚意向を性・雇用形態別にみると、男性、女性とも「正規の社員・職員」では、結婚意向があると回答した割合は6割強を占める。

一方で、男性の「派遣・嘱託・契約社員」では、他の職業に比べて「わからない」が4割と高い。

また、女性の「パート・アルバイト」、「無職・家事」では、「正規の社員・職員」、「派遣・嘱託・契約社員」に比べて早期の結婚意向（「すでに結婚する予定がある」、「すぐにでも結婚したい」、「2・3年以内に結婚したい」の合計）が低い様子がうかがえる。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

		n=	(%)					
TOTAL		1114	4.0	11.1	10.3	33.8	16.0	24.8
* 性別×雇用形態	■男性 計	544	2.8	11.2	8.8	37.5	13.1	26.7
	正規の社員・職員	339	3.2	12.7	11.8	38.1	8.6	25.7
	パート・アルバイト	55	5.5	5.5	40.0	18.2	30.9	
	派遣・嘱託・契約社員	43	7.0	11.6	4.7	20.9	14.0	41.9
	自営業主・家族従業員	70	1.4	10.0	4.3	41.4	22.9	20.0
	無職・家事	37	8.1	40.5	27.0	24.3		
	■女性 計	570	5.3	11.1	11.8	30.2	18.8	23.0
	正規の社員・職員	289	5.9	14.2	12.1	29.1	16.6	22.1
	パート・アルバイト	134	5.2	7.5	10.4	30.6	19.4	26.9
	派遣・嘱託・契約社員	61	4.9	14.8	14.8	34.4	13.1	18.0
	自営業主・家族従業員	30	6.7	3.3	16.7	36.7	20.0	16.7
	無職・家事	56	1.8	3.6	7.1	26.8	33.9	26.8

※なお、「学生 51 人」「その他 9 人」を除いて計算している。



結婚意向を性・年収別にみると、男性は年収 200 万円台以下では 23.3%が「結婚するつもりはない」と回答、結婚意向は5割にとどまっている。年収 300 万円台では 44.4%が「いずれは結婚したい」と回答しており、結婚意向は 73.4%にのぼっている。

一方、女性の年収 200 万円台以下では「2・3年以内に結婚したい」が 15.1%と高く、結婚意向も 63.9%となっており、男性の年収 200 万円台以下の傾向と異なっている。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

		n=	(%)					
TOTAL		1021	4.3	11.7	10.9	33.9	14.6	24.7
* 性別 × 年収	■ 男性 計	507	3.0	11.4	9.5	37.3	12.0	26.8
	200万円台以下	86	1.2	8.1	8.1	32.6	23.3	26.7
	300万円台	90	5.6	15.6	7.8	44.4	10.0	16.7
	400万円台	77	2.6	11.7	11.7	40.3	11.7	22.1
	500万円台以上	94	3.2	17.0	17.0	29.8	9.6	23.4
	覚えていない・答えたくない	160	2.5	7.5	5.6	38.8	8.8	36.9
	■ 女性 計	514	5.6	11.9	12.3	30.5	17.1	22.6
	200万円台以下	205	6.8	8.8	15.1	33.2	14.6	21.5
	300万円台	85	5.9	16.5	15.3	27.1	18.8	16.5
	400万円台	28	10.7	21.4	10.7	25.0	10.7	21.4
	500万円台以上	27	3.7	18.5	7.4	33.3	18.5	18.5
	覚えていない・答えたくない	169	3.6	10.7	8.3	29.6	20.1	27.8

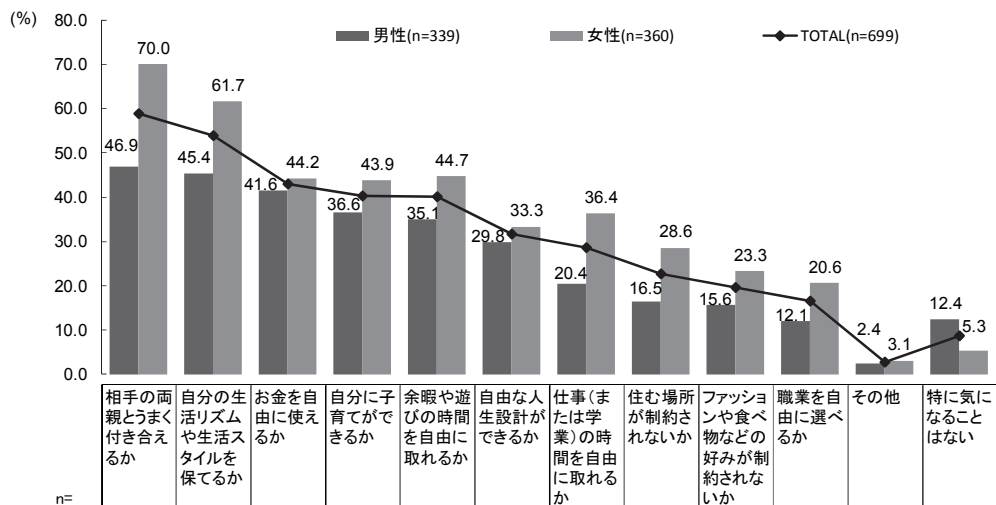
**問7 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。**  
**(回答はいくつでも) 【回答者：結婚予定がある、または意向がある者】**

結婚を考えたときに気になることとしては、「相手の両親とうまく付き合えるか」(58.8%)が最も高く、以下「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(53.8%)、「お金を自由に使えるか」(42.9%)と続く。

性・年代別にみると、女性の方が結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「相手の両親とうまく付き合えるか」、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」、「住む場所が制約されないか」といった項目の割合が高いことから、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。

一方、女性10・20代、30代では「自分に子育てができるか」も高い。

**① 性・年代別**



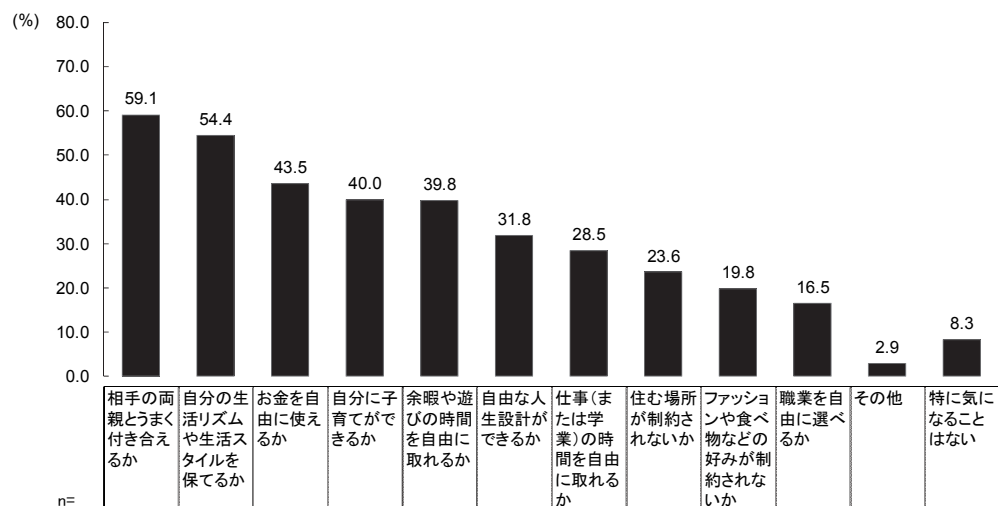
n=		相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	お金を自由に使えるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物の好みなどが制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL	699	58.8	53.8	42.9	40.3	40.1	31.6	28.6	22.7	19.6	16.5	2.7	8.7
■男性 計	339	46.9	45.4	41.6	36.6	35.1	29.8	20.4	16.5	15.6	12.1	2.4	12.4
10・20代	62	37.1	33.9	37.1	35.5	37.1	30.6	24.2	12.9	9.7	8.1	1.6	17.7
30代	109	52.3	53.2	46.8	44.0	42.2	28.4	19.3	15.6	18.3	14.7	2.8	8.3
40代	168	47.0	44.6	39.9	32.1	29.8	30.4	19.6	18.5	16.1	11.9	2.4	13.1
■女性 計	360	70.0	61.7	44.2	43.9	44.7	33.3	36.4	28.6	23.3	20.6	3.1	5.3
10・20代	132	72.0	53.8	40.2	50.0	46.2	33.3	34.1	22.7	22.0	19.7	3.0	6.8
30代	142	71.1	64.8	43.7	50.0	43.0	38.0	35.9	28.9	23.2	19.7	2.1	4.9
40代	86	65.1	68.6	51.2	24.4	45.3	25.6	40.7	37.2	25.6	23.3	4.7	3.5

※グラフはTOTALの順でソート

性・雇用形態別にみると、正規の社員・職員の女性は「相手の両親とうまく付き合えるか」(73.4%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(63.3%)、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(47.5%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(39.5%)、といったライフスタイルの変化に対する懸念が強い。また、「自分に子育てができるか」(48.0%)も高い。

派遣・嘱託・契約社員の女性は「住む場所が制約されないか」、「職業を自由に選べるか」が他に比べて高くなっている。

## ② 性・雇用形態別

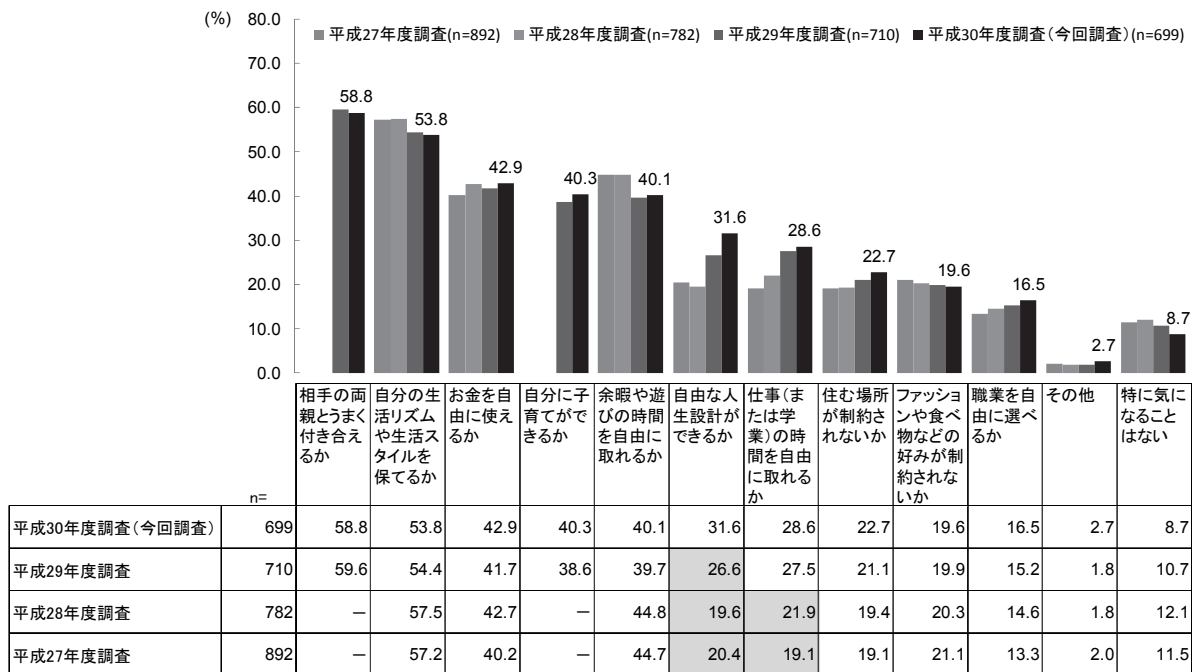


n=		相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	お金を自由に使えるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みがないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない	
TOTAL	660	59.1	54.4	43.5	40.0	39.8	31.8	28.5	23.6	19.8	16.5	2.9	8.3	
*性別×雇用形態	■男性 計	328	47.9	46.0	42.4	36.3	35.4	29.9	20.4	17.1	16.2	12.5	2.4	11.6
	正規の社員・職員	223	48.0	47.1	43.0	35.9	37.2	28.3	19.7	15.2	14.8	9.0	0.9	11.2
	パート・アルバイト	28	39.3	35.7	53.6	57.1	42.9	32.1	25.0	14.3	14.3	25.0	3.6	0.0
	派遣・嘱託・契約社員	19	57.9	57.9	36.8	21.1	42.1	42.1	21.1	26.3	26.3	10.5	10.5	15.8
	自営業主・家族従業員	40	50.0	50.0	35.0	35.0	27.5	37.5	25.0	25.0	22.5	25.0	7.5	12.5
	無職・家事	18	44.4	27.8	38.9	27.8	11.1	16.7	11.1	16.7	11.1	11.1	0.0	27.8
	■女性 計	332	70.2	62.7	44.6	43.7	44.3	33.7	36.4	30.1	23.5	20.5	3.3	5.1
	正規の社員・職員	177	73.4	63.3	45.2	48.0	47.5	34.5	39.5	27.7	23.7	20.3	4.0	4.5
	パート・アルバイト	72	65.3	58.3	43.1	31.9	43.1	26.4	29.2	25.0	22.2	20.8	5.6	8.3
	派遣・嘱託・契約社員	42	66.7	66.7	45.2	50.0	38.1	38.1	42.9	42.9	26.2	31.0	0.0	4.8
	自営業主・家族従業員	19	63.2	84.2	47.4	52.6	42.1	42.1	42.1	26.3	26.3	15.8	0.0	0.0
	無職・家事	22	72.7	45.5	40.9	27.3	36.4	36.4	18.2	45.5	18.2	4.5	0.0	4.5

※なお、「学生 34 人」「その他 5 人」を除いて計算している。

平成 27～30 年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、上位 5 項目には大きな変化はないのに対し、「自由な人生設計ができるか」、「仕事（または学業）の時間を自由に取れるか」の割合は上昇傾向がみられる。

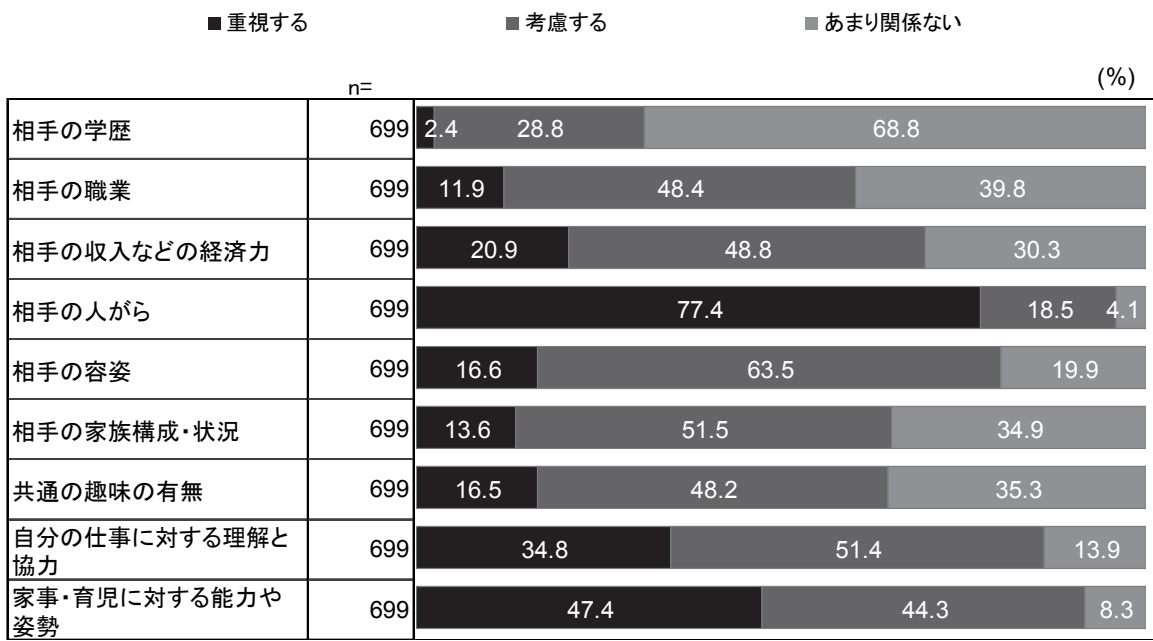
### ③ 平成 27～30 年度調査（今回調査）までの経年変化



※グラフは今回調査の順でソート

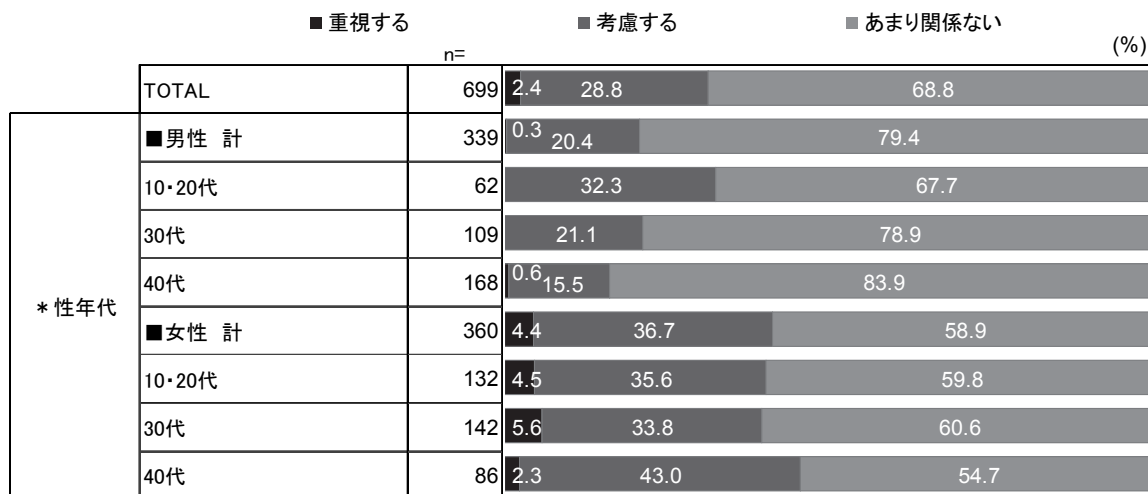
**問8 あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目についてどの程度重視しますか。(回答は1つ)**  
**【回答者：結婚予定がある、または意向がある者】**

結婚相手を決めるときに重視する割合が高いのは、「相手の人から」(77.4%)、「家事・育児に対する能力や姿勢」(47.4%)、「自分の仕事に対する理解と協力」(34.8%)といった項目である。  
 一方、「相手の学歴」などはあまり関係ないとする割合が高い。

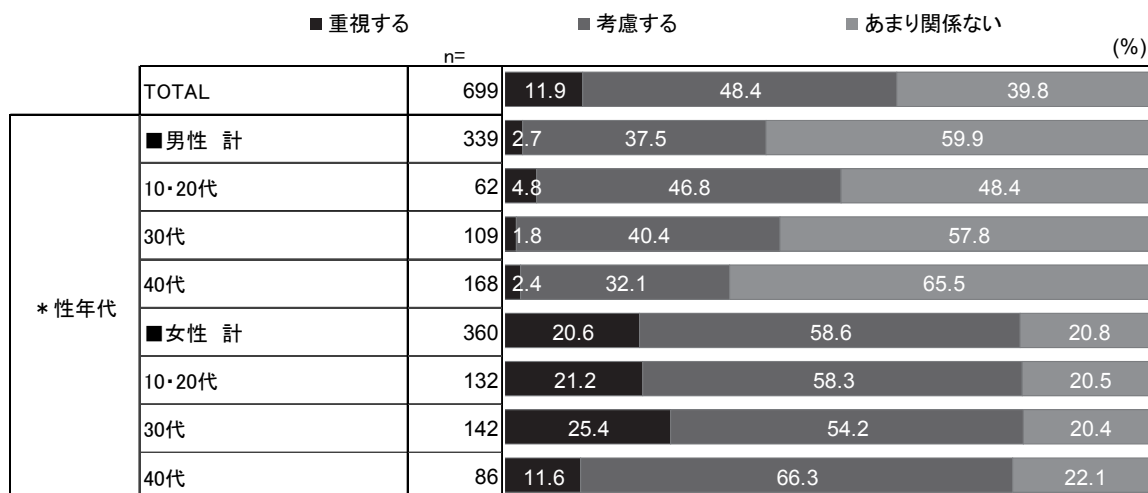


相手の学歴、職業、収入などの経済力は、いずれも女性の方が「重視する」または「考慮する」と回答する割合が高い。特に職業と経済力に対する考え方は男女差が大きく、女性では職業を重視するとの回答が2割、経済力を重視するとの回答が4割近くにのぼるのに対し、男性ではどちらも1割未満である。

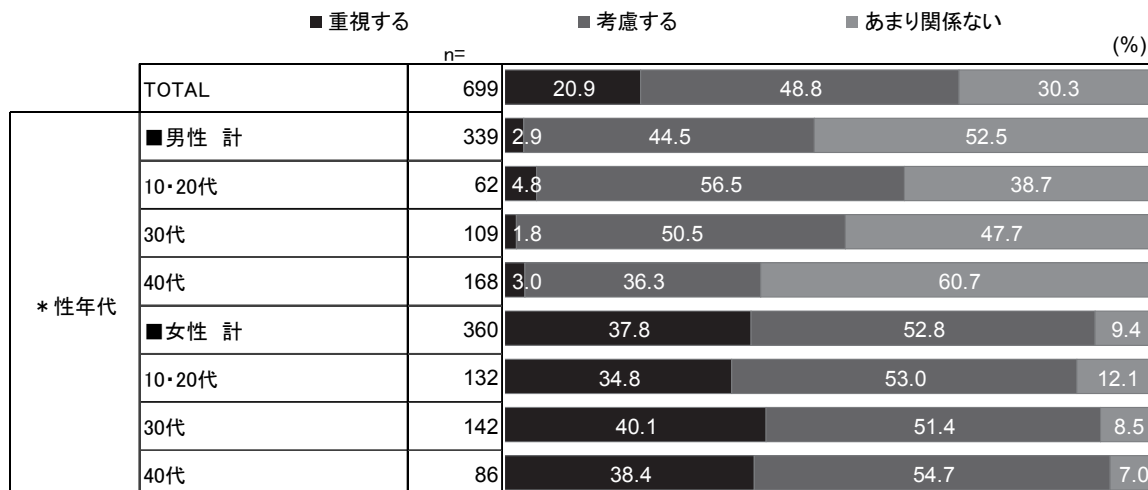
### ① 相手の学歴



### ② 相手の職業



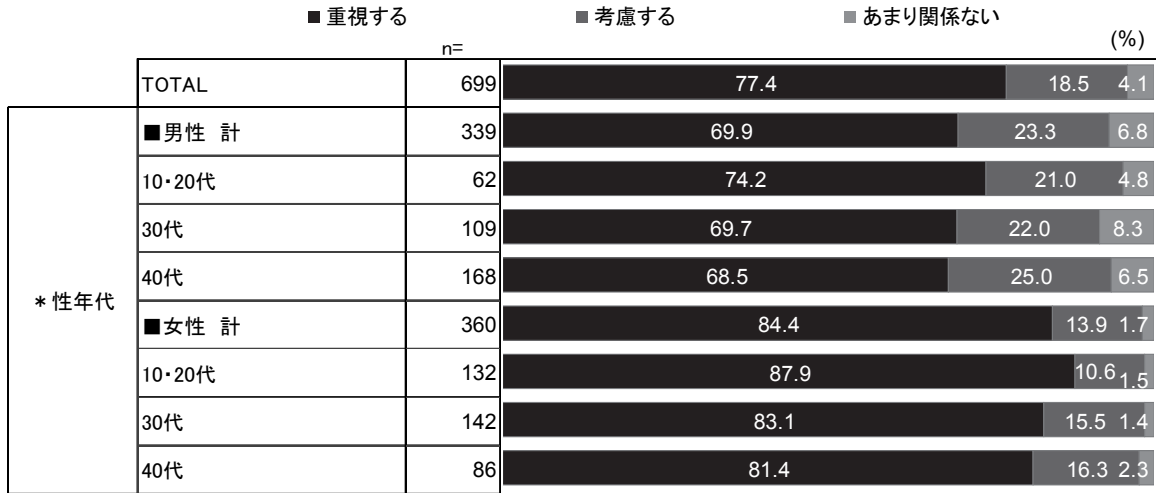
### ③ 相手の収入などの経済力



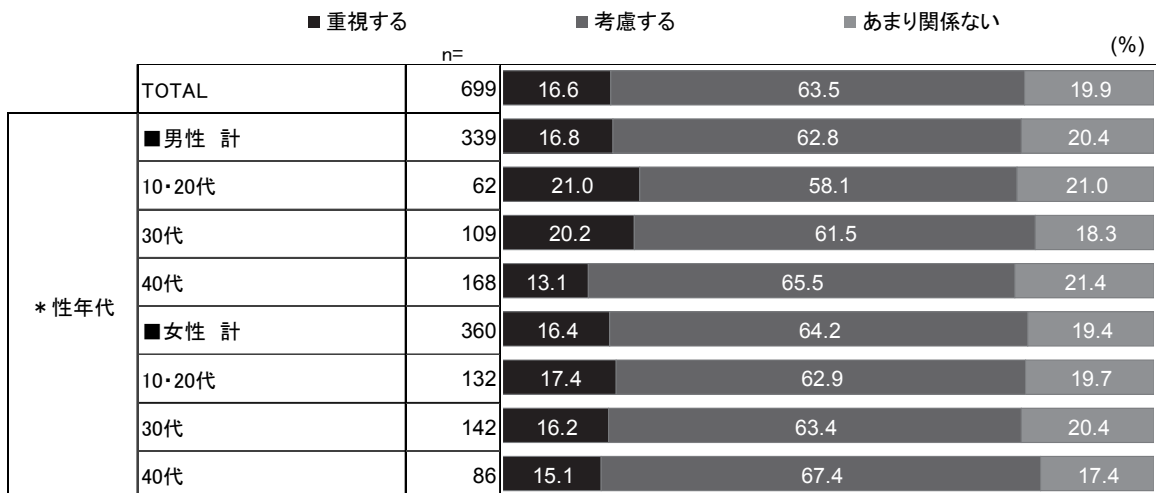
相手の人がらについては、女性の方が重視する割合が高く、いずれの年代でも8割を超える。  
相手の容姿を重視するのは男女ともに1～2割である。

家族構成・状況を重視するのは男性では1割未満であるのに対し、女性ではほぼ2割と、女性の方が重視する傾向にある。

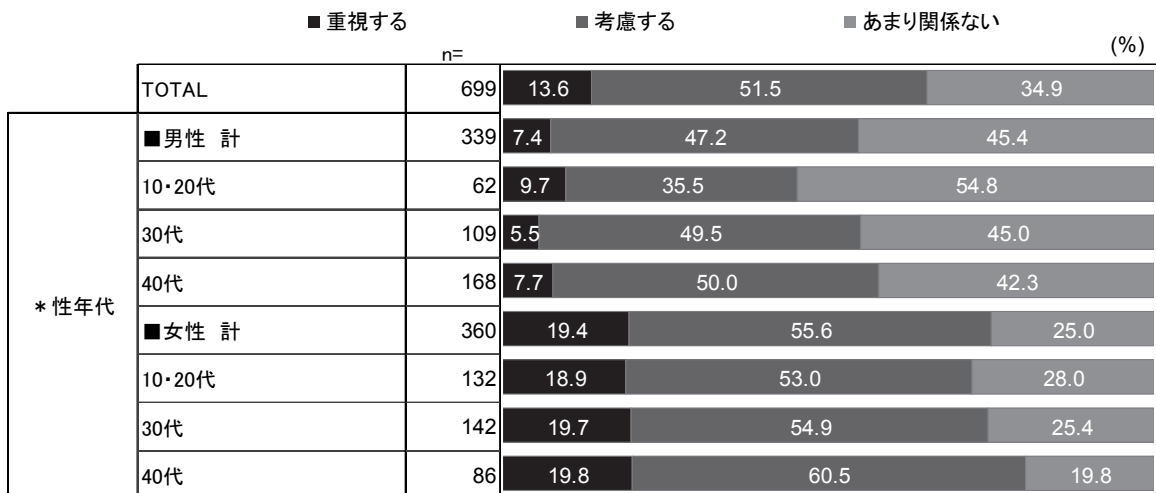
④ 相手の人がら



⑤ 相手の容姿



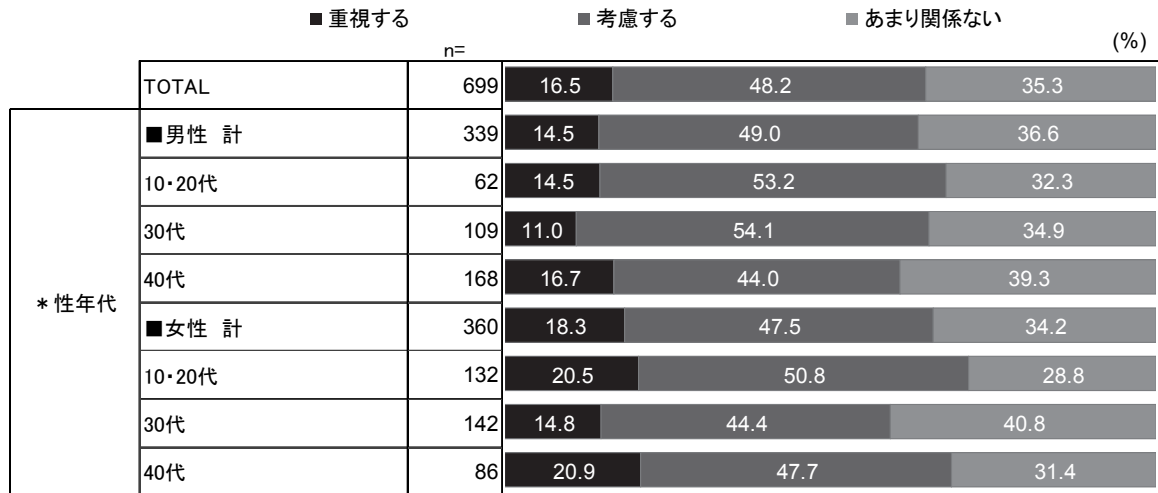
⑥ 相手の家族構成・状況



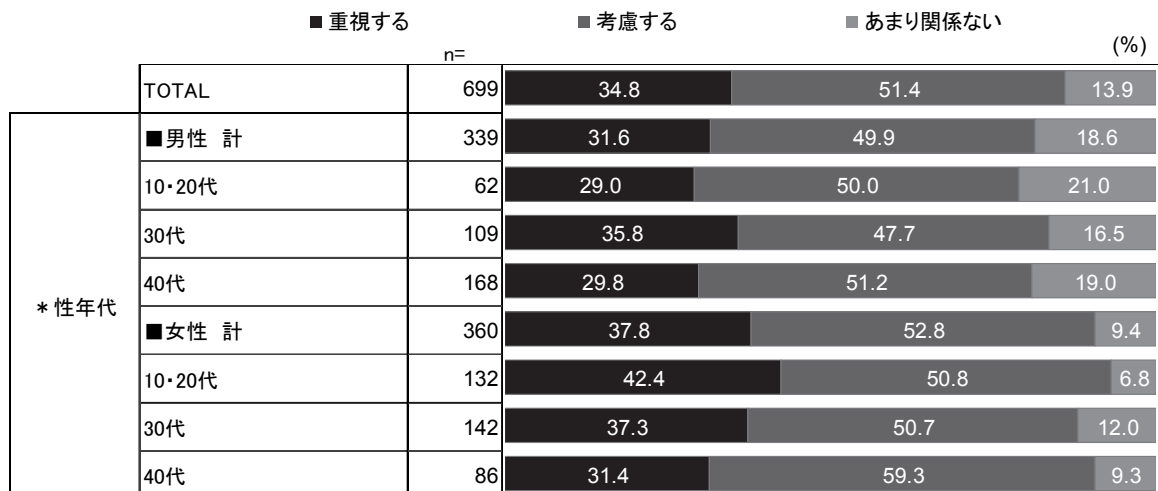
共通の趣味の有無については、重視するのは男女とも1～2割、自分の仕事に対する理解と協力については、男女ともおよそ3～4割が重視している。

家事・育児に対する能力や姿勢については、女性10・20代、女性30代の6～7割が重視すると回答している。

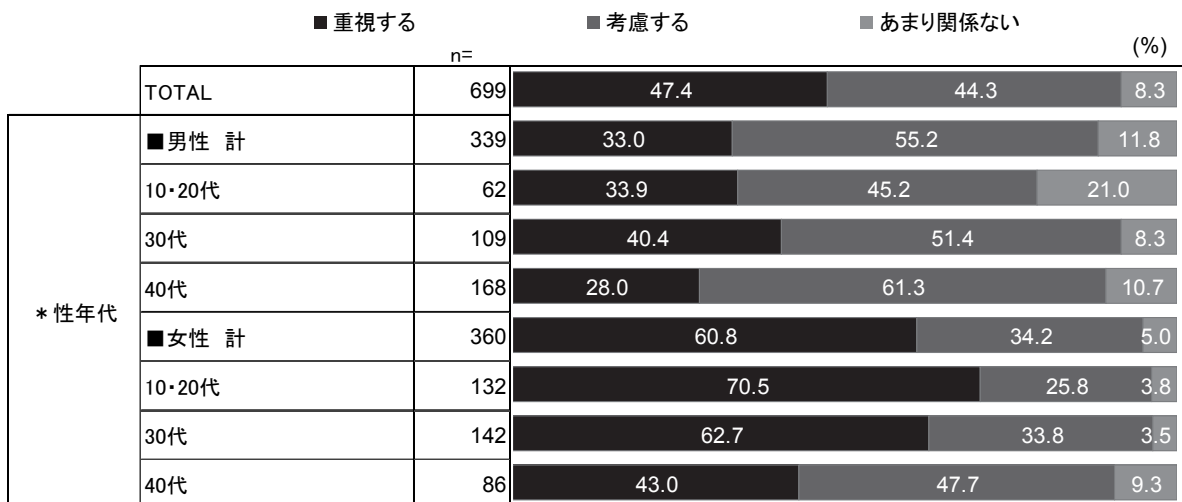
⑦ 共通の趣味の有無



⑧ 自分の仕事に対する理解と協力



⑨ 家事・育児に対する能力や姿勢

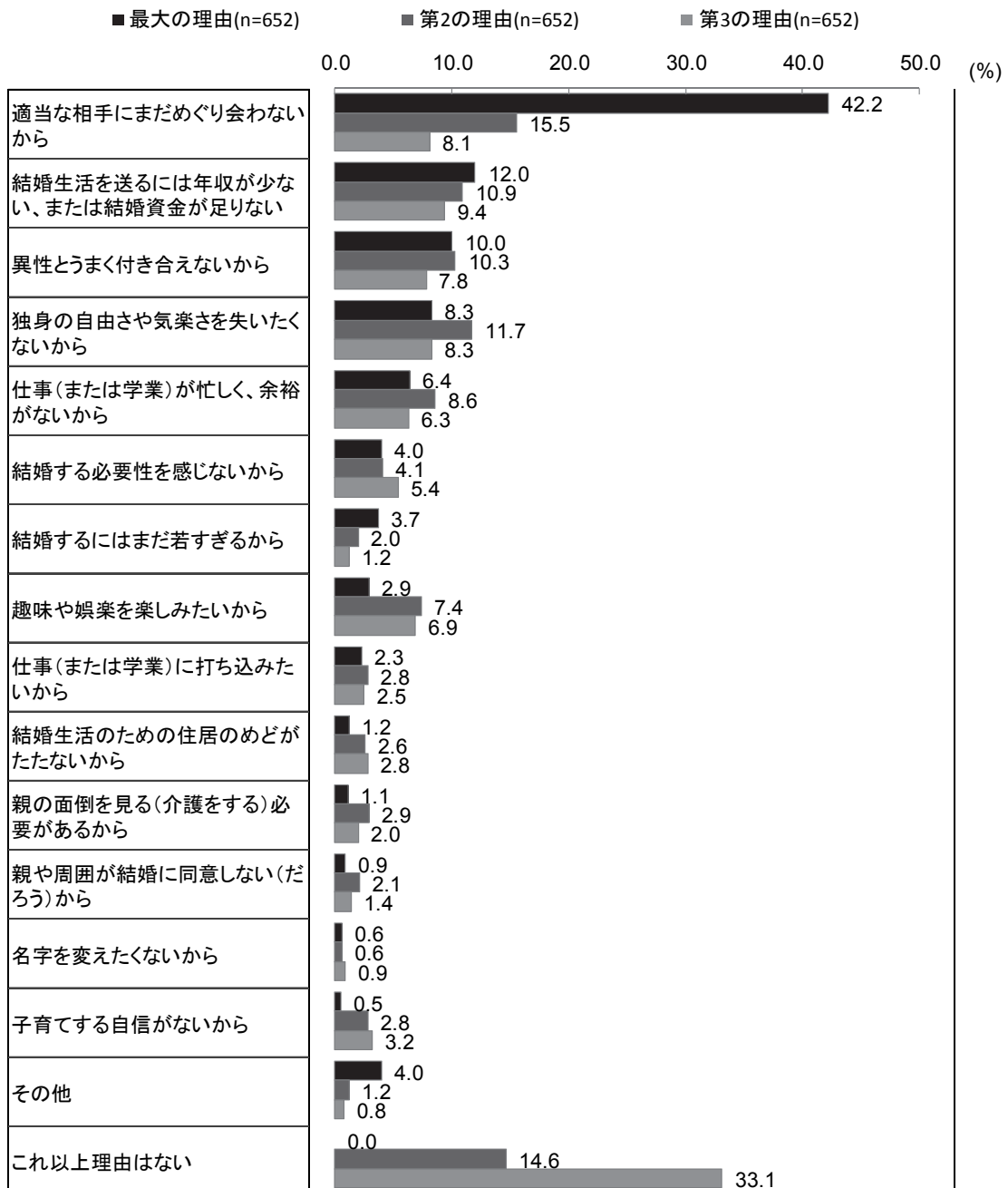




問9 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ)  
 【回答者：結婚意向がある者、または結婚意向がない者】

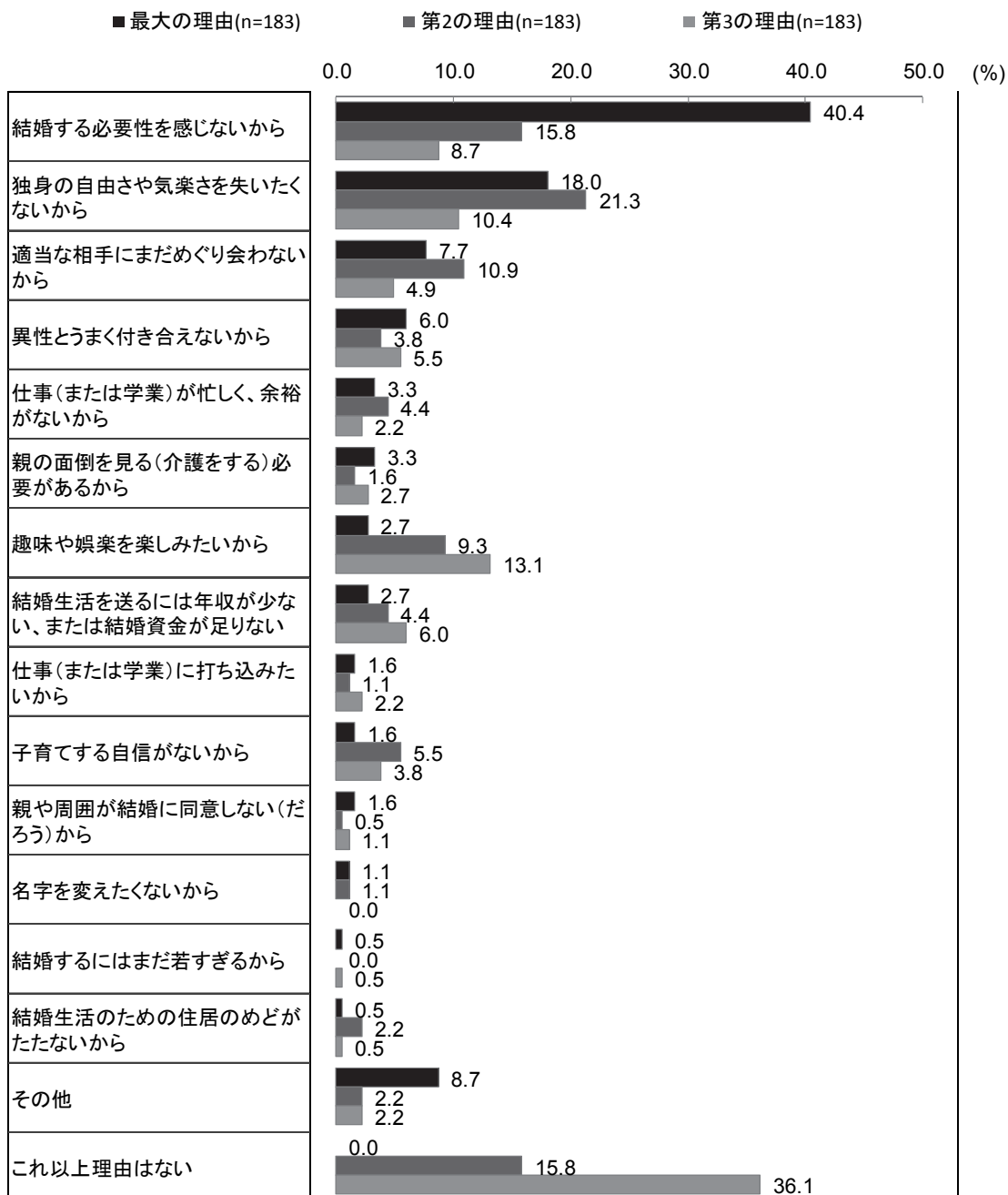
現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者についてみると、「適当な相手にまだめぐり合わないから」(42.2%)が最も高く、以下、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(12.0%)、「異性とうまく付き合えないから」(10.0%)と続く。

<「結婚意向あり」の場合>



現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「結婚する必要性を感じないから」(40.4%)が最も高く、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(18.0%)と続いており、現在のライフスタイルを維持したい意向がうかがえる。

<「結婚意向なし」の場合>

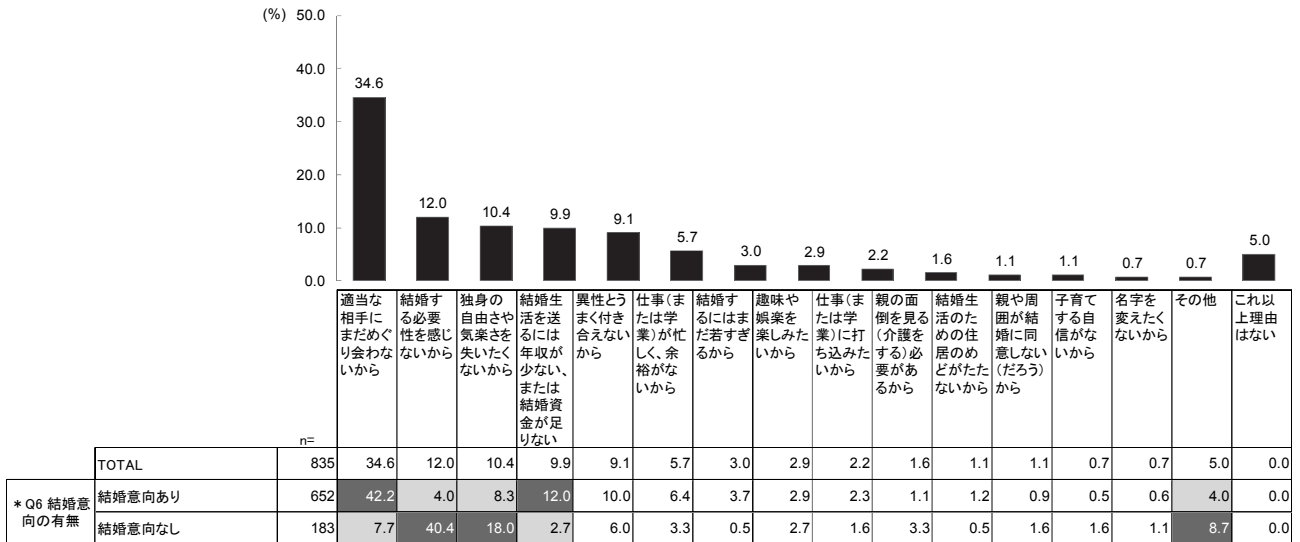


現在独身でいる最大の理由を結婚意向の有無別にみると、結婚意向がある者は「適当な相手にまだめぐり合わないから」(42.2%)、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(12.0%)を理由とする割合が高い。一方、結婚意向がない者は「結婚する必要性を感じないから」(40.4%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(18.0%)が主な理由となっている。

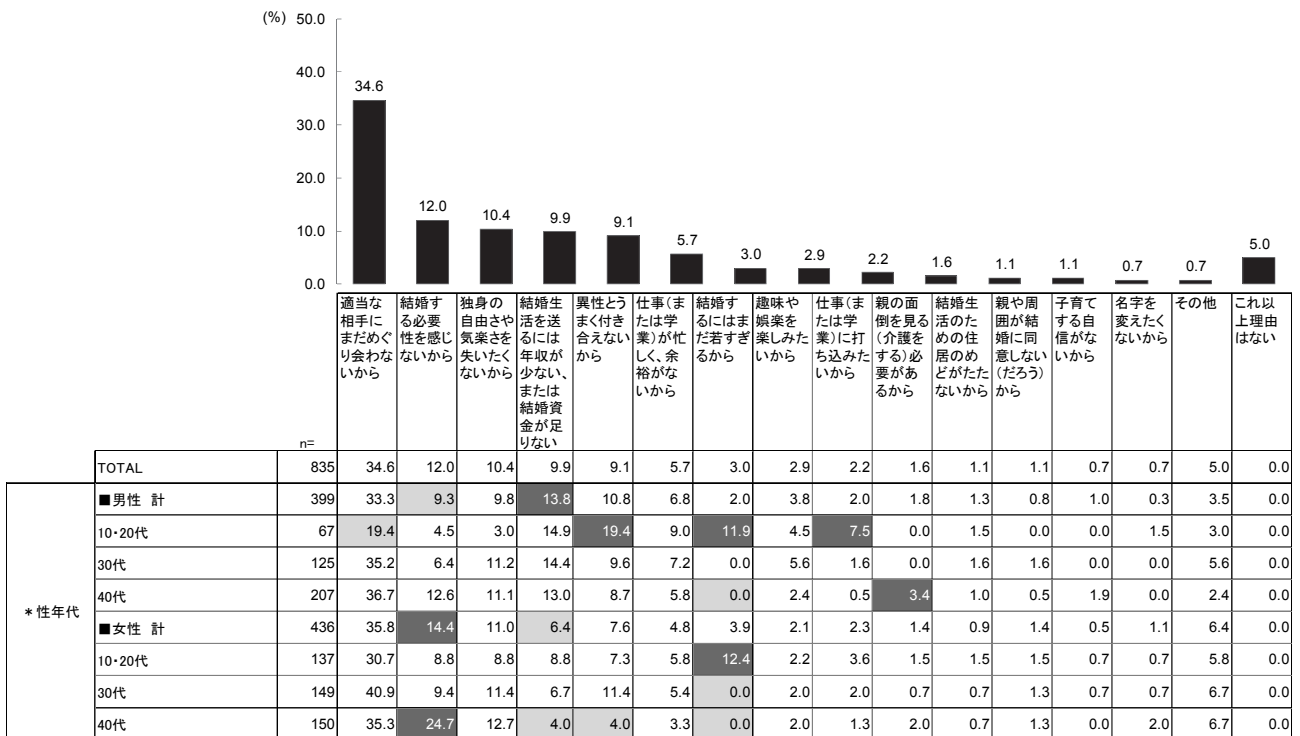
性・年代別にみると、男女ともに10・20代は「結婚するにはまだ若すぎるから」(男性：11.9%、女性：12.4%)を理由とする割合が高い。また、男性10・20代は「異性とうまく付き合えないから」(19.4%)が高い。

① 最大の理由

<結婚意向の有無別の場合>



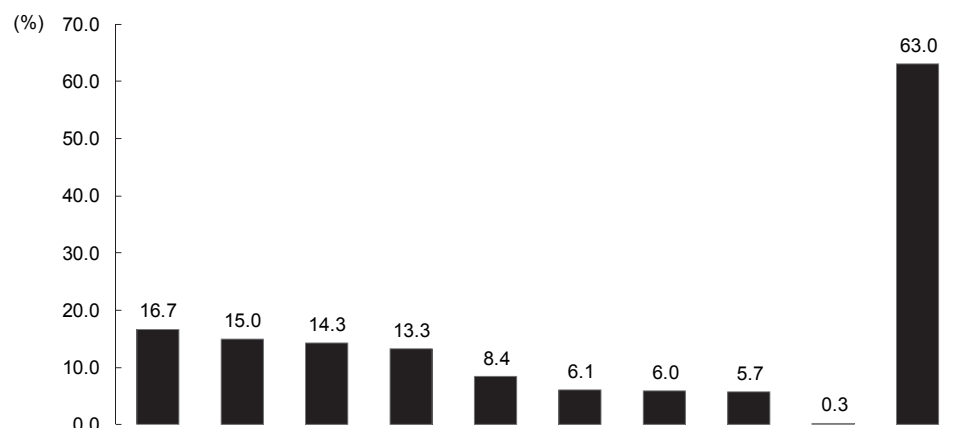
<性・年代別の場合>



問10 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。  
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚意向がある者】

「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(16.7%)の割合が最も高く、次いで「婚活パーティーに参加する」(15.0%)、「インターネットサイト・SNSを活用する」(14.3%)の順になっている。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は6割以上(63.0%)を占める。

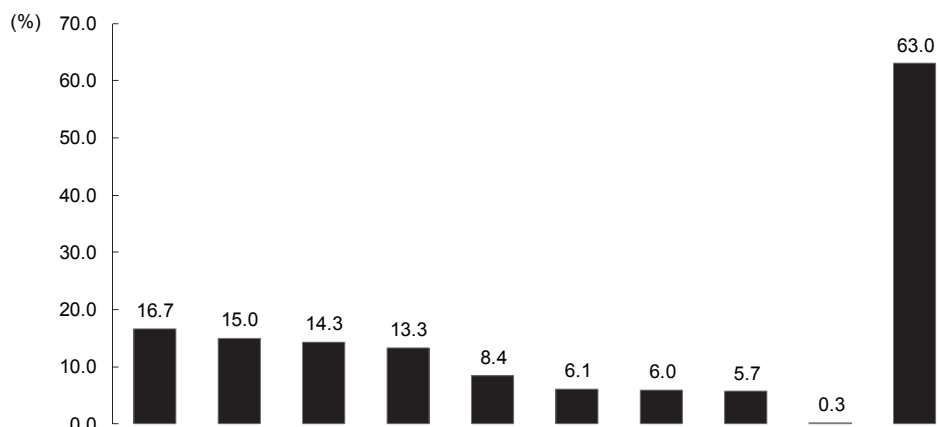
性・年代別にみると、女性30代で「婚活パーティーに参加する」(26.2%)、「お見合いをする」(14.3%)の割合が高い。



		n=	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	インターネットサイト・SNSを活用する	合コンに参加する	お見合いをする	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		652	16.7	15.0	14.3	13.3	8.4	6.1	6.0	5.7	0.3	63.0
* 性年代	■ 男性 計	324	14.5	11.7	13.0	13.9	8.6	7.1	5.6	5.9	0.3	64.5
	10・20代	56	12.5	7.1	16.1	10.7	3.6	0.0	8.9	1.8	0.0	73.2
	30代	107	16.8	13.1	15.0	19.6	8.4	9.3	6.5	6.5	0.0	57.9
	40代	161	13.7	12.4	10.6	11.2	10.6	8.1	3.7	6.8	0.6	65.8
	■ 女性 計	328	18.9	18.3	15.5	12.8	8.2	5.2	6.4	5.5	0.3	61.6
	10・20代	120	19.2	12.5	15.8	11.7	3.3	0.8	5.8	1.7	0.0	67.5
	30代	126	19.8	26.2	14.3	13.5	14.3	8.7	5.6	8.7	0.0	56.3
	40代	82	17.1	14.6	17.1	13.4	6.1	6.1	8.5	6.1	1.2	61.0

「婚活」として行っていること（今後行いたいこと）を性・結婚意向別にみると、すぐにでも結婚したい男性では、「市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する」（22.6%）の割合が高い。

また、すぐにでも結婚したい女性では、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」（34.9%）、「婚活パーティーに参加する」（33.3%）の割合が高い。



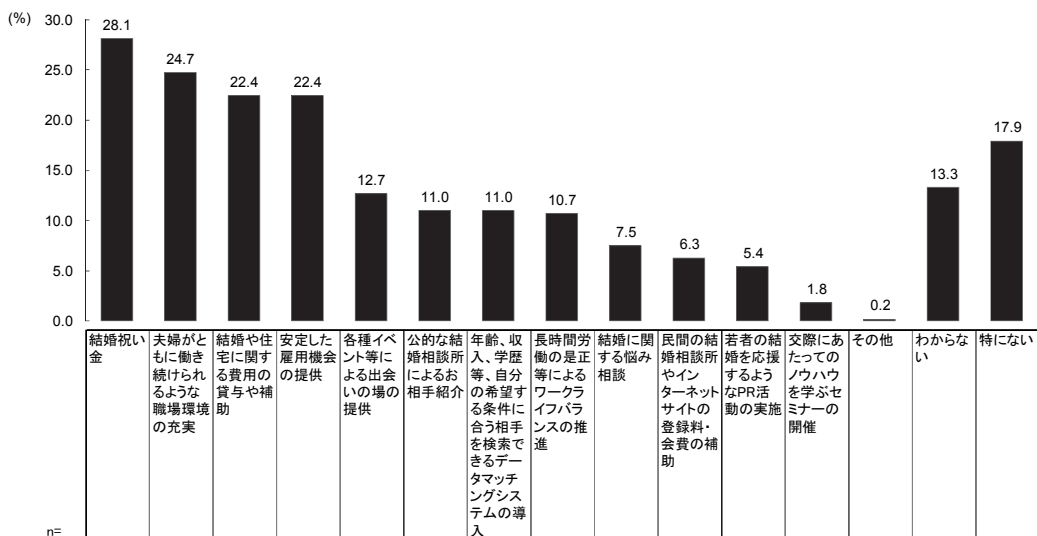
		n=	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	インターネットサイト・SNSを活用する	合コンに参加する	お見合いをする	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		652	16.7	15.0	14.3	13.3	8.4	6.1	6.0	5.7	0.3	63.0
* 性別 × 結婚意向	■ 男性 計	324	14.5	11.7	13.0	13.9	8.6	7.1	5.6	5.9	0.3	64.5
	すぐにでも結婚したい	62	25.8	21.0	19.4	19.4	21.0	22.6	3.2	11.3	1.6	40.3
	2・3年以内に結婚したい	49	24.5	20.4	24.5	28.6	14.3	6.1	12.2	16.3	0.0	44.9
	いずれは結婚したい	213	8.9	7.0	8.5	8.9	3.8	2.8	4.7	1.9	0.0	76.1
	■ 女性 計	328	18.9	18.3	15.5	12.8	8.2	5.2	6.4	5.5	0.3	61.6
	すぐにでも結婚したい	63	34.9	33.3	20.6	22.2	14.3	9.5	9.5	14.3	0.0	36.5
	2・3年以内に結婚したい	67	20.9	20.9	20.9	10.4	11.9	1.5	9.0	3.0	0.0	61.2
	いずれは結婚したい	198	13.1	12.6	12.1	10.6	5.1	5.1	4.5	3.5	0.5	69.7

問11 行政（県や市町村）に取り組んでほしい結婚支援は何ですか。あてはまるものをお答えください。（回答は3つまで） 【回答者：結婚意向がある者】

行政（県や市町村）に取り組んでほしい結婚支援としては、「結婚祝い金」（28.1%）が最も高く、以下、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」（24.7%）、「結婚や住宅に関する費用の貸与や補助」及び「安定した雇用機会の提供」（ともに22.4%）と続く。

性・年代別にみると、男性40代では「公的な結婚相談所によるお相手紹介」（18.6%）を挙げる割合が高い。

女性10～30代では、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」の割合が高い。また、女性10・20代では「長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進」（17.5%）が高いのが特徴的である。



		n=	結婚祝い金	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	結婚や住宅に関する費用の貸与や補助	安定した雇用機会の提供	各種イベント等による出会いの場の提供	公的な結婚相談所によるお相手紹介	年齢、収入、学歴等、自分の希望する条件に合う相手を検索できるデータマッチングシステムの導入	長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進	結婚に関する悩み相談	民間の結婚相談所やインターネットサイトの登録料・会費の補助	若者の結婚を応援するようなPR活動の実施	交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催	その他	わからない	特になし
TOTAL		652	28.1	24.7	22.4	22.4	12.7	11.0	11.0	10.7	7.5	6.3	5.4	1.8	0.2	13.3	17.9
* 性年代	■男性 計	324	23.1	18.8	20.7	18.2	14.2	14.5	10.5	9.9	8.6	7.7	5.6	2.8	0.0	12.3	21.6
	10・20代	56	32.1	23.2	23.2	21.4	10.7	0.0	8.9	12.5	8.9	0.0	12.5	3.6	0.0	17.9	19.6
	30代	107	28.0	14.0	16.8	21.5	11.2	15.9	9.3	15.0	7.5	11.2	6.5	2.8	0.0	12.1	20.6
	40代	161	16.8	20.5	22.4	14.9	17.4	18.6	11.8	5.6	9.3	8.1	2.5	2.5	0.0	10.6	23.0
	■女性 計	328	32.9	30.5	24.1	26.5	11.3	7.6	11.6	11.6	6.4	4.9	5.2	0.9	0.3	14.3	14.3
	10・20代	120	35.8	36.7	25.8	24.2	7.5	3.3	6.7	17.5	5.0	3.3	7.5	0.8	0.0	13.3	14.2
	30代	126	34.1	32.5	22.2	27.0	13.5	10.3	12.7	10.3	6.3	5.6	3.2	0.8	0.0	11.9	15.9
40代	82	26.8	18.3	24.4	29.3	13.4	9.8	17.1	4.9	8.5	6.1	4.9	1.2	1.2	19.5	12.2	

(3) 既婚者の結婚生活の状況

問12 結婚したときのご夫婦の年齢をお答えください。【回答者：既婚者】

結婚したときの夫の平均年齢は33.1歳、妻の平均年齢は31.1歳である。全国を対象に実施した「平成29年人口動態調査」（厚生労働省）の平均婚姻年齢（全婚姻）夫33.4歳、妻31.1歳とほぼ同じである。

① 夫の年齢

		<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>■ 20歳未満</span> <span>■ 20代</span> <span>■ 30代</span> <span>■ 40代以上</span> </div>				n=	%	平均値
* 性年代	TOTAL	1838	0.4	39.3	39.6	20.7	33.1	
	■男性 計	873	0.1	38.0	40.1	21.8	33.1	
	10・20代	25	100.0				25.8	
	30代	234	39.7 60.3				30.8	
	40代	614	0.2	34.9	34.0	30.9	34.3	
	■女性 計	965	0.6	40.5	39.2	19.7	33.0	
	10・20代	90	1.1	65.6		27.8	5.6	28.9
	30代	439	0.9	40.1	47.6		11.4	31.9
	40代	436	0.2	35.8	33.0	31.0	34.9	

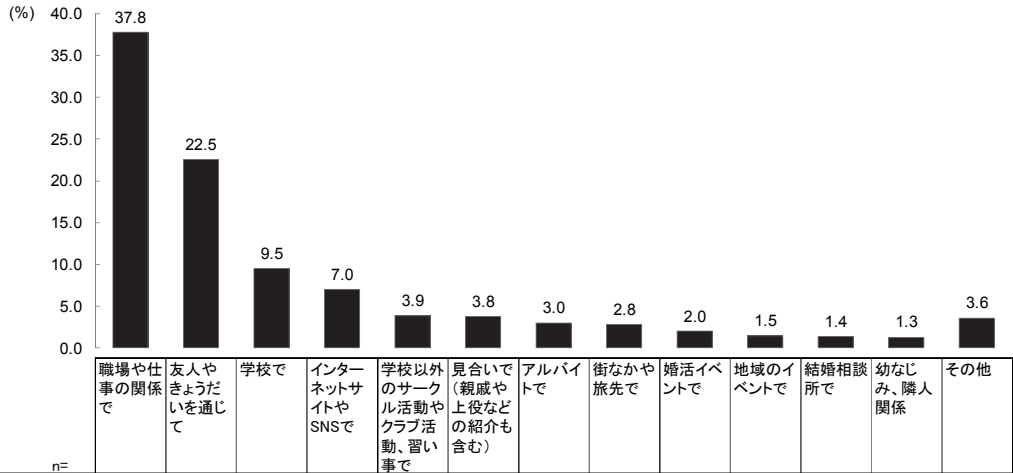
② 妻の年齢

		<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>■ 20歳未満</span> <span>■ 20代</span> <span>■ 30代</span> <span>■ 40代以上</span> </div>				n=	%	平均値
* 性年代	TOTAL	1838	0.9	51.1	33.3	14.7	31.1	
	■男性 計	873	0.7	47.5	34.2	17.5	31.9	
	10・20代	25	96.0 4.0				26.2	
	30代	234	0.4	46.2	45.7		7.7	31.0
	40代	614	0.8	46.1	31.1	22.0	32.5	
	■女性 計	965	1.0	54.3	32.4		12.2	30.4
	10・20代	90	5.6	94.4				25.0
	30代	439	0.9	53.5		45.6		29.3
	40代	436	0.2	46.8	25.9	27.1	32.6	

**問13 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)【回答者：既婚者】**

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」(37.8%)が最も高く、以下、「友人やきょうだいを通じて」(22.5%)、「学校で」(9.5%)と続く。

性・年代別にみると、男性10・20代では「学校で」(48.0%)がきっかけである割合が高い。一方、女性10・20代では「アルバイトで」(7.8%)がきっかけである割合が高い。



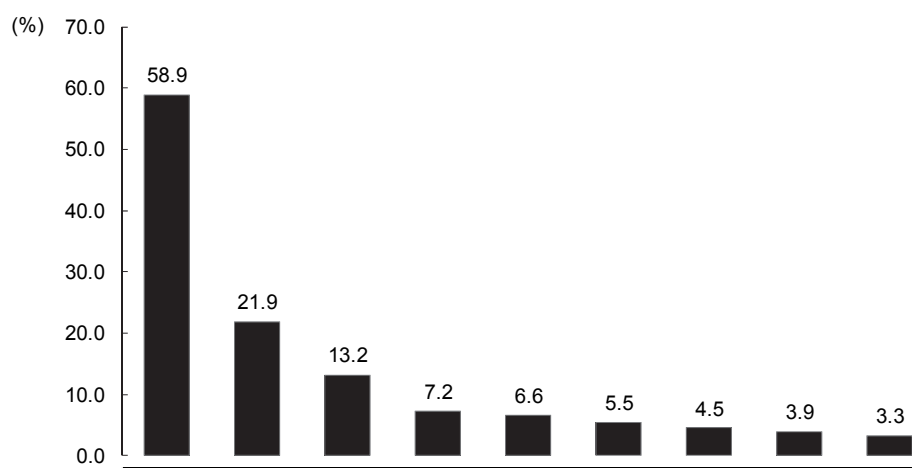
		n=	職場や仕事の関係で	友人やきょうだいを通じて	学校で	インターネットサイトやSNSで	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)	アルバイトで	街なかや旅先で	婚活イベントで	地域のイベントで	結婚相談所で	幼なじみ、隣人関係	その他
TOTAL		1838	37.8	22.5	9.5	7.0	3.9	3.8	3.0	2.8	2.0	1.5	1.4	1.3	3.6
* 性年代	■男性 計	873	36.5	21.6	9.3	6.8	4.6	4.2	2.3	2.9	2.4	2.3	1.5	1.9	3.7
	10・20代	25	20.0	12.0	48.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	30代	234	37.2	22.2	9.4	6.4	4.3	3.0	4.3	2.1	1.3	3.0	0.4	1.3	5.1
	40代	614	37.0	21.8	7.7	7.0	4.6	4.9	1.6	3.3	2.8	2.0	2.0	2.3	3.3
	■女性 計	965	38.9	23.3	9.7	7.2	3.3	3.3	3.7	2.7	1.7	0.7	1.2	0.6	3.6
	10・20代	90	33.3	22.2	13.3	12.2	1.1	0.0	7.8	3.3	0.0	1.1	0.0	1.1	4.4
	30代	439	36.0	25.1	12.1	6.8	3.6	2.7	3.4	1.8	2.3	0.7	0.9	0.7	3.9
	40代	436	42.9	21.8	6.7	6.4	3.4	4.6	3.2	3.4	1.4	0.7	1.8	0.5	3.2



問14 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。(回答は2つまで)  
【回答者：既婚者】

最終的に結婚を決めた直接のきっかけは、「年齢的に適当な時期だと感じた」が58.9%と最も高く、以下、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」(21.9%)、「子どもができた」(13.2%)と続く。

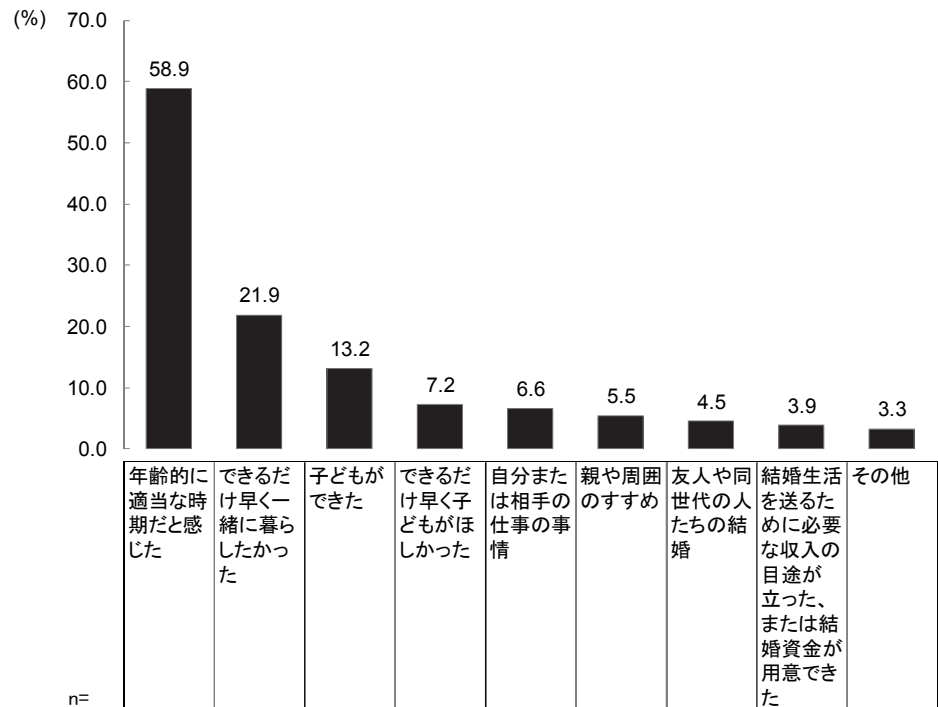
性・年代別にみると、男性40代は「年齢的に適当な時期だと感じた」(63.0%)と回答する割合が高い。女性10・20代では年齢を理由とする割合は低い一方、「子どもができた」(34.4%)ことをきっかけとして挙げる割合が顕著に高い。



		n=	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	子どもができた	できるだけ早く子どもがほしかった	自分または相手の仕事の事情	親や周囲のすすめ	友人や同世代の人たちの結婚	結婚生活を送るために必要な収入の目途が立った、または結婚資金が用意できた	その他
TOTAL		1838	58.9	21.9	13.2	7.2	6.6	5.5	4.5	3.9	3.3
* 性年代	■男性 計	873	62.3	23.7	11.3	6.1	4.6	4.9	3.8	4.7	2.5
	10・20代	25	48.0	44.0	8.0	8.0	4.0	4.0	8.0	8.0	0.0
	30代	234	62.0	18.8	14.1	7.3	5.1	4.7	3.4	5.6	3.8
	40代	614	63.0	24.8	10.4	5.5	4.4	5.0	3.7	4.2	2.1
	■女性 計	965	55.9	20.2	14.8	8.2	8.4	6.0	5.2	3.2	3.9
	10・20代	90	42.2	14.4	34.4	12.2	13.3	3.3	5.6	4.4	5.6
	30代	439	55.6	22.1	14.8	9.1	9.8	4.8	4.1	3.6	4.1
	40代	436	58.9	19.5	10.8	6.4	6.0	7.8	6.2	2.5	3.4

結婚時の本人の年齢別にみると、いずれの年代でも「年齢的に適当な時期だと感じた」ことが直接のきっかけとなっており、特に30代（63.0%）で高い割合である。

一方、10・20代では「子どもができた」（16.0%）の割合が高い。



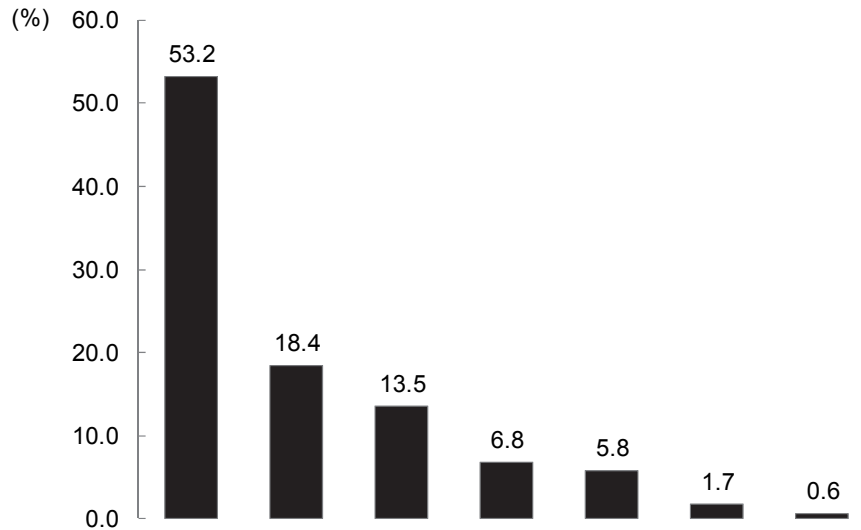
		n=	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	子どもができた	できるだけ早く子どもがほしかった	自分または相手の仕事の事情	親や周囲のすすめ	友人や同世代の人たちの結婚	結婚生活を送るために必要な収入の目途が立った、または結婚資金が用意できた	その他
	TOTAL	1838	58.9	21.9	13.2	7.2	6.6	5.5	4.5	3.9	3.3
* 結婚時の年齢	10代・20代	867	55.8	22.7	16.0	6.1	7.2	5.0	5.5	4.2	3.3
	30代	663	63.0	19.5	11.2	8.3	6.5	5.6	3.8	3.9	3.8
	40代	308	58.8	24.7	9.4	7.8	5.2	6.8	3.2	3.2	1.9

(4) 働き方に関する現状

問15 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方(事実婚を含む)は、配偶者(パートナー)についてもお答えください。(回答は1つ)

回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代、40代では「正規の社員・職員」が8割弱(30代:77.8%、40代:77.5%)を占めるが、10・20代では65.9%とやや低い割合である。一方女性の場合、10・20代では「正規の社員・職員」が36.9%であるのに対し、30代、40代は3割(30代:30.5%、40代:30.8%)にとどまり、「パート・アルバイト」(30代:30.5%、40代:33.9%)の割合が高い。

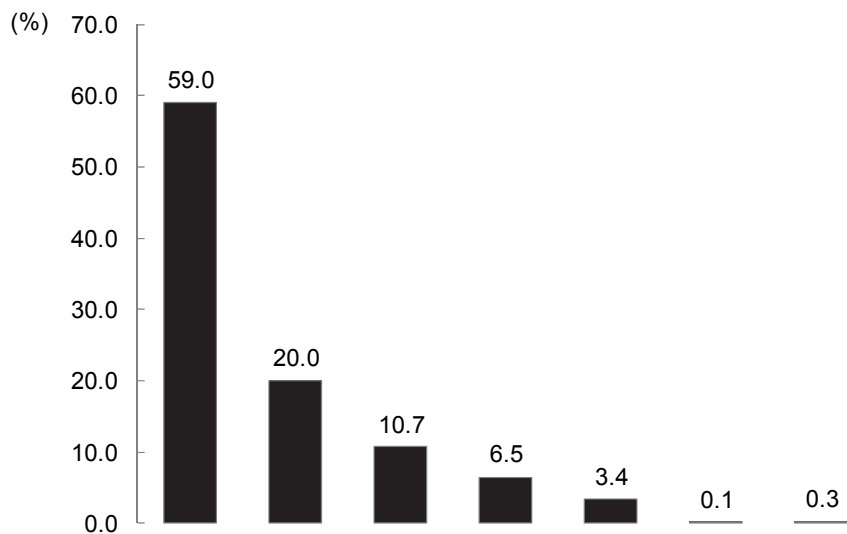
① あなた自身の状況



		n=	正規の社員・職員	パート・アルバイト	無職・家事	自営業主・家族従業員	派遣・嘱託・契約社員	学生	その他
TOTAL		3012	53.2	18.4	13.5	6.8	5.8	1.7	0.6
* 性年代	■男性 計	1443	76.6	4.9	3.3	9.3	4.0	1.4	0.6
	10・20代	126	65.9	13.5	2.4	0.0	2.4	15.1	0.8
	30代	396	77.8	6.3	4.0	7.6	3.5	0.3	0.5
	40代	921	77.5	3.0	3.1	11.3	4.3	0.0	0.7
	■女性 計	1569	31.7	30.9	22.9	4.5	7.5	2.0	0.6
	10・20代	255	36.9	23.9	19.6	3.1	3.5	12.2	0.8
	30代	642	30.5	30.5	27.9	3.9	6.7	0.0	0.5
	40代	672	30.8	33.9	19.3	5.5	9.8	0.0	0.6

配偶者の就労状況は、男性回答者の配偶者の場合「パート・アルバイト」または「無職・家事」の割合が高く、女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割以上（10・20代：82.2%、30代：87.5%、40代：84.2%）を占める。

② 配偶者の状況（既婚者のみ）

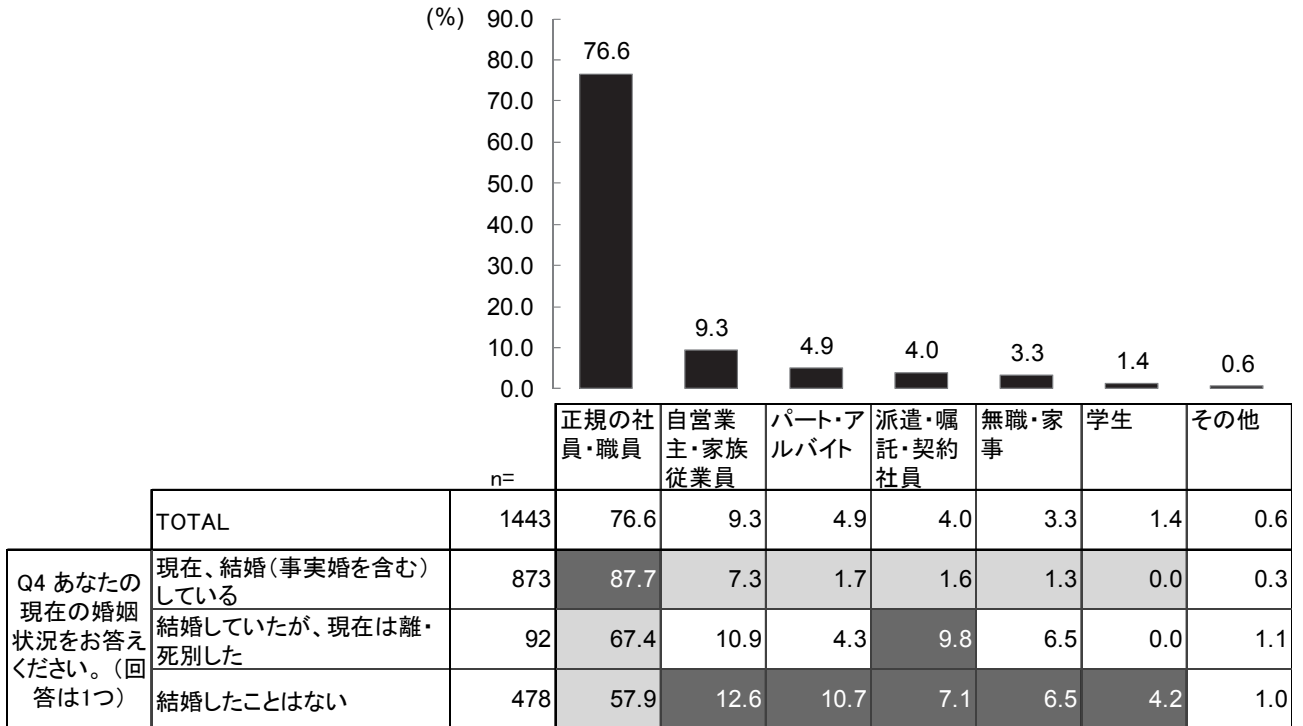


		n=	正規の社員・職員	パート・アルバイト	無職・家事	自営業主・家族従業員	派遣・嘱託・契約社員	学生	その他
TOTAL		1838	59.0	20.0	10.7	6.5	3.4	0.1	0.3
* 性年代	■男性 計	873	29.8	40.4	21.5	2.5	5.3	0.2	0.2
	10・20代	25	60.0	16.0	20.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	30代	234	33.3	30.8	29.1	1.3	5.1	0.4	0.0
	40代	614	27.2	45.1	18.7	3.1	5.4	0.2	0.3
	■女性 計	965	85.5	1.5	0.8	10.2	1.8	0.0	0.3
	10・20代	90	82.2	1.1	2.2	12.2	2.2	0.0	0.0
	30代	439	87.5	1.1	0.5	9.3	1.1	0.0	0.5
	40代	436	84.2	1.8	0.9	10.6	2.3	0.0	0.2

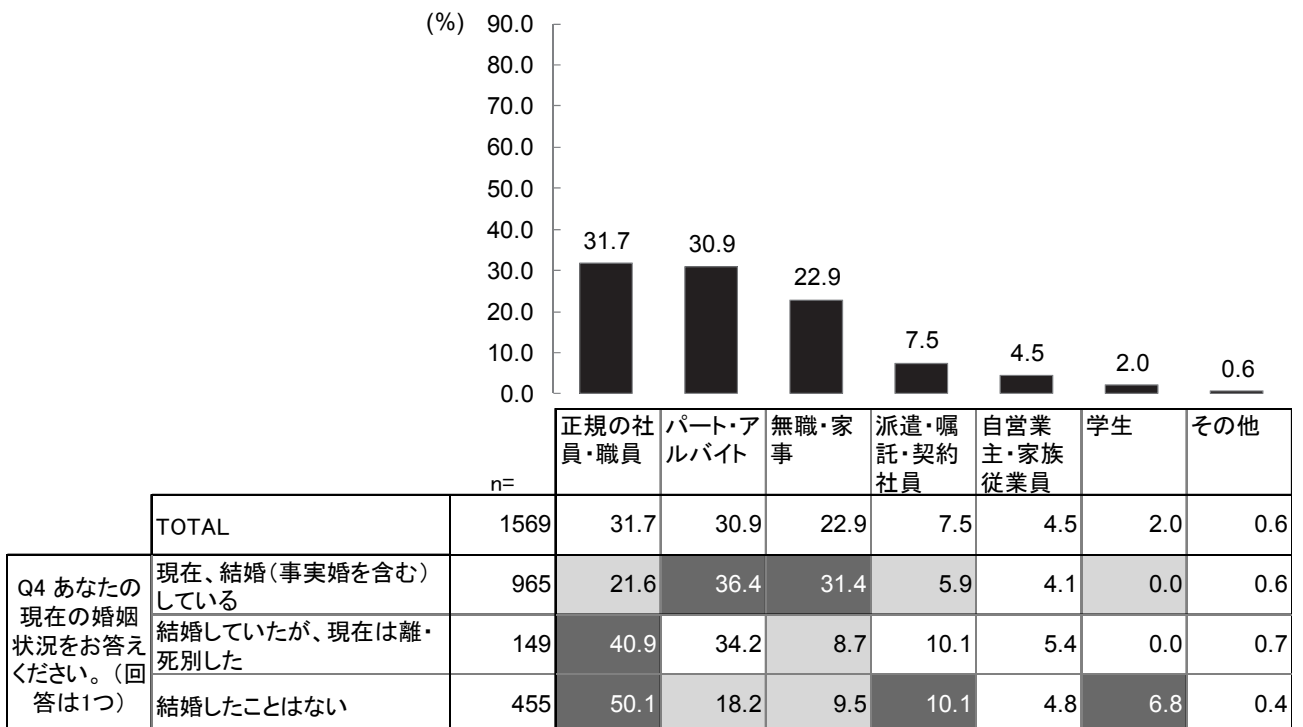
性・婚姻状況別にみると、現在結婚（事実婚を含む）している男性は「正規の社員・職員」（87.7%）の割合が高く、結婚したことはない男性は「自営業主・家族従業員」（12.6%）、「パート・アルバイト」（10.7%）、「派遣・嘱託・契約社員」（7.1%）等と、正規の社員・職員以外の割合が高い。

女性においては、現在結婚（事実婚を含む）している場合、「パート・アルバイト」（36.4%）や「無職・家事」（31.4%）の割合が高い。結婚したことはない女性は「正規の社員・職員」（50.1%）の割合が高く、「パート・アルバイト」（18.2%）の割合が低い。

### ① 男性・婚姻状況別



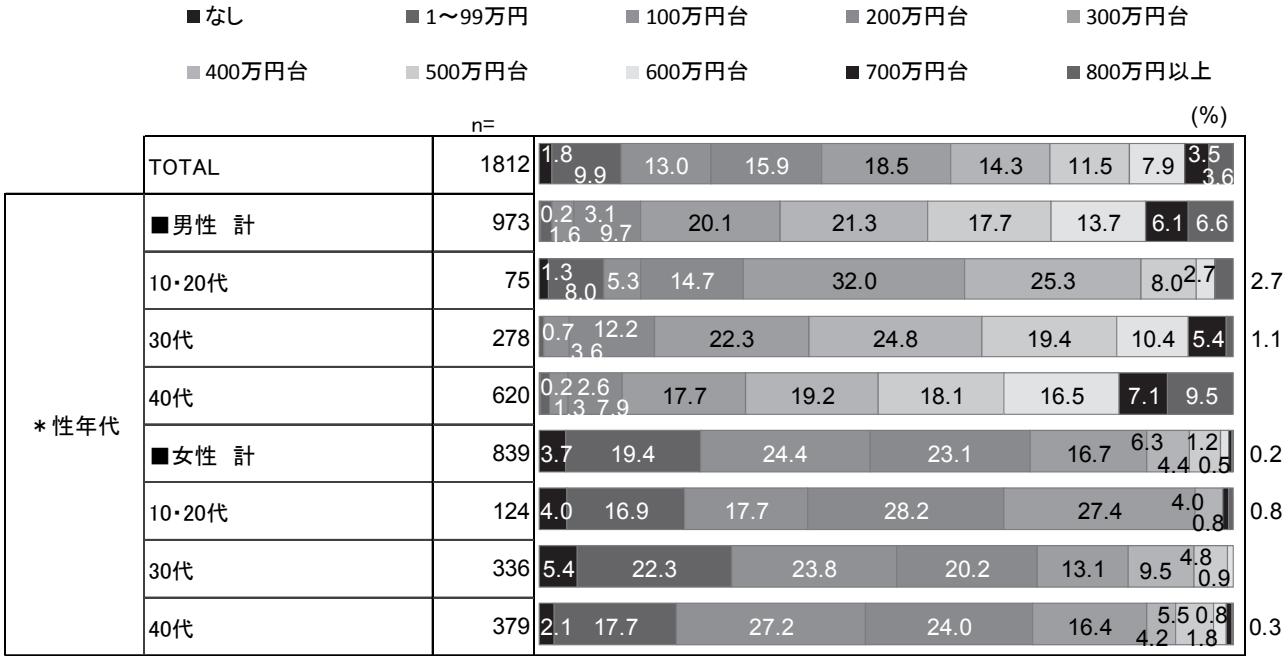
### ② 女性・婚姻状況別



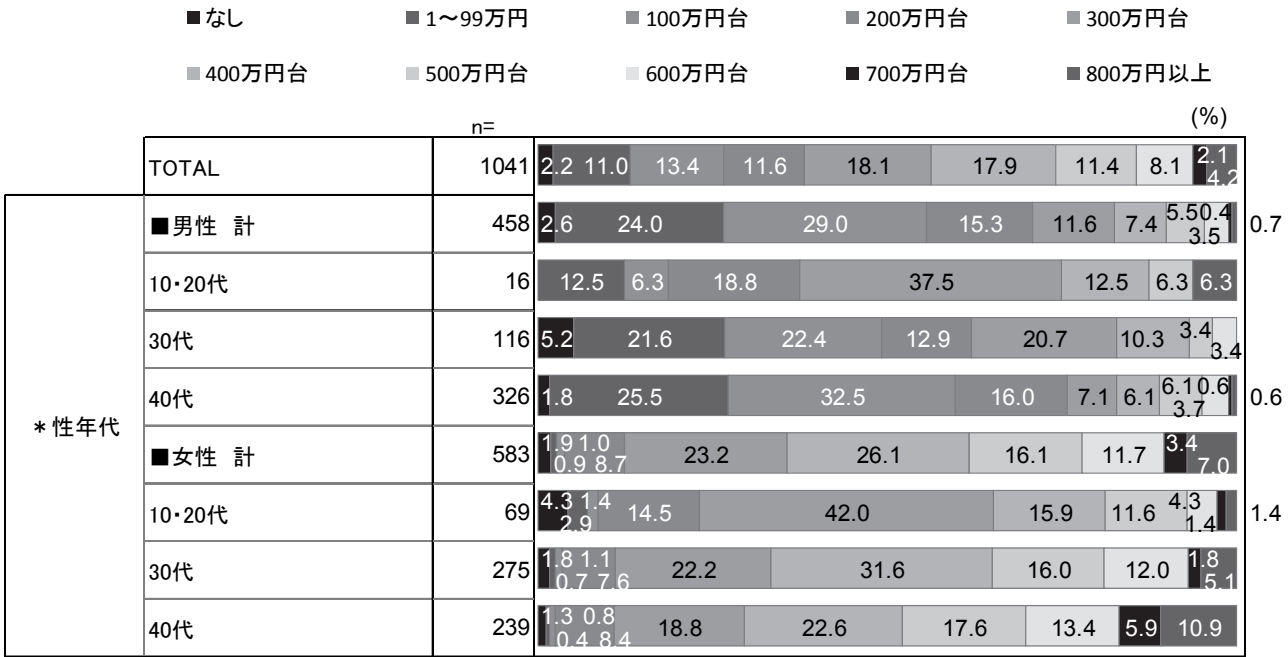
問16 差し支えなければ、あなたの昨年の収入（年収）をお答えください。結婚されている方は、配偶者（パートナー）の収入（年収）もお答えください。（回答は1つ） 【回答者：有職者】

回答者自身の年収は、「100万円台」（13.0%）、「200万円台」（15.9%）、「300万円台」（18.5%）、「400万円台」（14.3%）、「500万円台」（11.5%）がそれぞれ1割程度である。男性の方が年収が高く、女性は200万円台以下が7割程度を占めている。

① あなた自身の状況（「覚えていない・答えたくない」を除く）



② 配偶者の状況（既婚者のみ。「覚えていない・答えたくない」を除く）



夫婦の働き方別に合計年収（概算）をみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では「800万円台以上」の世帯が45.8%を占めている。一方、非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭では年収は低い傾向にあり、200万円台以下の世帯が44.4%となっている。

<「既婚者」の場合>



		n=	(%)							
TOTAL		1838	5.6	10.4	14.3	15.3	14.2	9.8	18.9	11.6
* 夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	411	0.6	4.2	15.1	13.8	45.8			11.5
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	727	2.5	9.8	14.7	19.2	16.0	10.2	11.4	16.2
	共働き家庭(その他)	176	7.3	11.4	20.3	10.6	9.8	6.5	10.6	23.6
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	447	8.8	19.0	20.7	19.7	13.9	7.1	10.8	
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	59	44.4		16.7	25.0	11.1	2.8		
	その他	18	50.0			21.4	7.1	7.1	14.3	

※夫婦の合計年収は問17の「あなたご自身の年収」と「あなたの配偶者の年収」を合計して、概算として算出している。本調査においては「～万円台」という選択肢で聴取しているため、実際の合計年収とは異なる。

算出例) あなたご自身の年収：300万円台、あなたの配偶者の年収：200万円台 = 合計年収500万円台とする。実際には600万円台の可能性もある。  
 また、いずれかの年収が「覚えていない・答えたくない」と回答されていた場合は「合計不明」としている。

問17 女性：育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方はどれですか。  
 男性：育児と仕事との関係で、あなたが理想とする配偶者・パートナーの生き方は次のどれですか。（配偶者・パートナーがいない方は、いると仮定してお答えください。）（回答は1つ）

育児と仕事との関係で、女性の理想の生き方としては「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」が45.5%と最も高く、次いで「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」（15.7%）、「出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける」（10.4%）となっている。

性・婚姻状況別にみると、男女ともに現在、結婚（事実婚を含む）している人では「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」が半数を占める。結婚したことはない人の場合、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」や「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」の割合は低く、「結婚も出産もせず、働き続ける」、「結婚はするが、出産しないで働き続ける」、あるいは「わからない」という回答割合が高い傾向にある。

- 結婚も出産もせず、働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける
- 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
- 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
- わからない
- 結婚はするが、出産しないで働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく
- 出産退職後は、育児に専念する
- その他

		n=	(%)					
	TOTAL	3012	1.5 4.2	10.4	45.5	15.7	3.0 2.3	0.6 16.9
* 性別 × 婚姻状況	■ 男性 計	1443	4.3	11.9	45.8	14.1	1.5 1.2	0.6 20.6
	現在、結婚(事実婚を含む)している	126	3.2	12.7	52.7	18.2	1.8 1.3	0.6 9.5
	結婚していたが、現在は離・死別した	396	7.6	7.6	37.0	7.6 3.3		37.0
	結婚したことはない	921	5.6	11.3	34.9	7.9 1.0	0.8 0.6	37.7
	■ 女性 計	1569	2.8 4.1	9.1	45.3	17.1	4.3 3.2	0.6 13.5
	現在、結婚(事実婚を含む)している	255	0.9 2.4	9.9	50.9	20.4	5.5 3.2	0.4 6.3
	結婚していたが、現在は離・死別した	642	2.0 6.0	5.4	37.6	17.4	2.7 2.7	1.3 24.8
	結婚したことはない	672	7.0	7.3 8.4	35.8	9.9	2.4 3.3	0.9 25.1

また、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」(47.4%) が半数を占め、次いで「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」(17.4%) となっている。

<女性 18-34 歳の場合> (希望出生率の算出根拠)

- 結婚も出産もせず、働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける
- 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
- 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
- わからない
- 結婚はするが、出産しないで働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく
- 出産退職後は、育児に専念する
- その他

		n=	(%)					
女性18-34歳		559	3.2 3.6	10.2	47.4	17.4	4.7 2.5	0.5 10.6



夫婦の働き方別にみると、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」の割合が51.7%と半数を占める。共働き家庭（どちらも正規社員・職員）の場合には「出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける」との考えが24.6%と他に比べて高い。また、正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭では「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」との考えが29.8%と3割を占めている。

<既婚者>の夫婦の働き方別>

- 結婚も出産もせず、働き続ける
- 結婚はするが、出産しないで働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく
- 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
- 出産退職後は、育児に専念する
- 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
- その他
- わからない

		n=	(%)						
	TOTAL	1838	0.5 2.8	11.3	51.7	19.4	3.8 2.3	0.5 7.8	
* 夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	411	0.5 3.6	24.6	51.3	9.5	1.0 1.7	0.2 7.5	
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	727	0.6 2.1	8.4	59.4	20.4	1.9 1.0	6.3	
	共働き家庭(その他)	176	1.7 4.5	11.9	58.5	11.4	1.7 1.1	9.1	
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	447	1.8 4.0	38.0	29.8	9.8	5.8 0.7	10.1	
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	59	6.8	6.8	44.1	20.3	6.8	3.4 5.1	6.8
	その他	18	5.6	11.1	50.0	22.2		11.1	

(5) 出産や子育てに関する意識と現状

問18 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

<「既婚者」の場合>

現在の子どもの数は、1人が23.4%、2人が37.3%、3人が14.3%、平均すると1.51人である。0人の割合は2割強(22.5%)となっている。

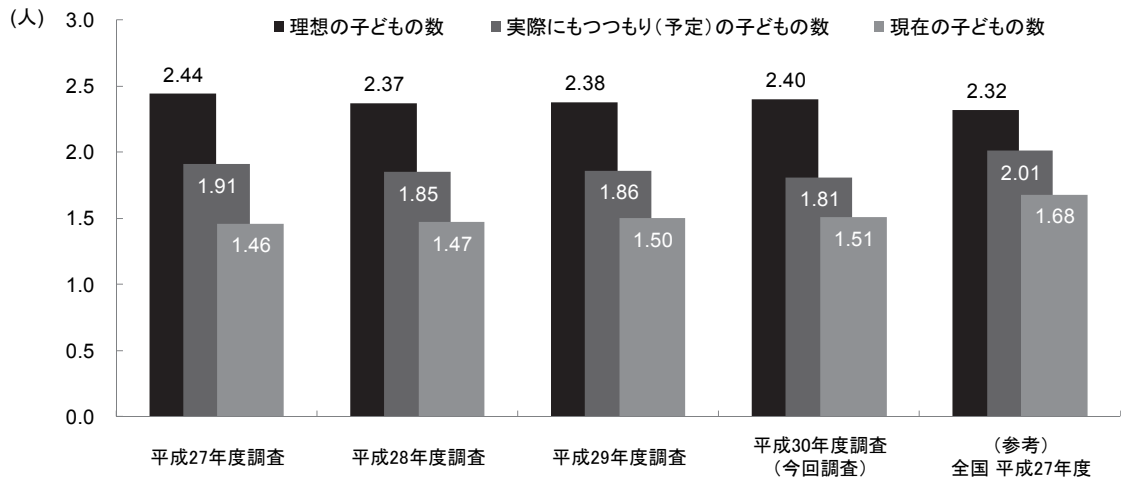
理想の子どもの数は、1人が5.3%、2人が42.5%、3人が38.6%、平均すると2.40人である。

実際に持つつもり(予定)の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が18.6%、2人が46.0%、3人が18.7%、平均すると1.81人である。

① 現在の子どもの数・合計(既婚者)

		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	平均値
既婚者TOTAL	現在の子どもの数	1838	22.5	23.4	37.3	14.3	2.4	0.1	1.51
	理想の子どもの数	873	5.8	5.3	42.5	38.6	5.5	2.2	2.40
	実際に持つつもり(予定)の子どもの数	25	13.2	18.6	46.0	18.7	3.3	0.2	1.81

なお、平成27~29年度調査(今回調査)までの経年変化は以下のとおりである。平成27年度調査から概ね同程度で推移している。



※全国のは「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」(国立社会保障・人口問題研究所)より出典

既婚者の性・年代別にみた現在の子ども数、理想の子ども数、実際に持つつもり（予定）の子ども数は、以下のとおりである。

① -1 性・年代別

		<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></span> 0人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px;"></span> 1人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: lightgray; margin-right: 5px;"></span> 2人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #cccccc; margin-right: 5px;"></span> 3人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #999999; margin-right: 5px;"></span> 4人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #666666; margin-right: 5px;"></span> 5人以上					n=	(%)	平均値
現在の子ども数	■男性 計	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>20.4</span> <span>21.6</span> <span>40.7</span> <span>15.0</span> <span>2.3</span> </div>					873		1.57
	10・20代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>64.0</span> <span>24.0</span> <span>12.0</span> </div>					25		0.48
	30代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>24.4</span> <span>24.4</span> <span>34.6</span> <span>12.8</span> <span>3.8</span> </div>					234		1.47
	40代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>17.1</span> <span>20.5</span> <span>44.1</span> <span>16.4</span> <span>1.8</span> </div>					614		1.65
	■女性 計	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>24.4</span> <span>25.1</span> <span>34.2</span> <span>13.6</span> <span>2.6</span> </div>					965		1.46
	10・20代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>32.2</span> <span>41.1</span> <span>22.2</span> <span>2.2</span> </div>					90		1.01
	30代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>21.0</span> <span>26.2</span> <span>35.8</span> <span>15.3</span> <span>1.8</span> </div>					439		1.51
	40代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>26.1</span> <span>20.6</span> <span>35.1</span> <span>14.2</span> <span>3.4</span> </div>					436		1.50
理想の子ども数	■男性 計	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>5.8</span> <span>5.5</span> <span>43.9</span> <span>38.8</span> <span>4.2</span> </div>					873		2.35
	10・20代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>12.0</span> <span>4.0</span> <span>48.0</span> <span>32.0</span> <span>4.0</span> </div>					25		2.12
	30代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>6.0</span> <span>4.7</span> <span>44.4</span> <span>36.8</span> <span>7.3</span> </div>					234		2.37
	40代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>5.5</span> <span>5.9</span> <span>43.5</span> <span>39.9</span> <span>3.1</span> </div>					614		2.36
	■女性 計	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>5.8</span> <span>5.1</span> <span>41.3</span> <span>38.3</span> <span>6.7</span> </div>					965		2.43
	10・20代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>3.3</span> <span>3.3</span> <span>47.8</span> <span>37.8</span> <span>5.6</span> </div>					90		2.46
	30代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>3.4</span> <span>3.6</span> <span>39.2</span> <span>42.6</span> <span>8.0</span> </div>					439		2.58
	40代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>8.7</span> <span>6.9</span> <span>42.2</span> <span>34.2</span> <span>5.7</span> </div>					436		2.28
実際に持つつもり(予定)の子ども数	■男性 計	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>11.9</span> <span>18.8</span> <span>47.3</span> <span>19.2</span> <span>2.7</span> </div>					873		1.82
	10・20代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>20.0</span> <span>16.0</span> <span>48.0</span> <span>12.0</span> <span>4.0</span> </div>					25		1.64
	30代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>9.8</span> <span>19.2</span> <span>46.2</span> <span>20.5</span> <span>4.3</span> </div>					234		1.90
	40代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>12.4</span> <span>18.7</span> <span>47.7</span> <span>19.1</span> <span>2.1</span> </div>					614		1.80
	■女性 計	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>14.3</span> <span>18.3</span> <span>44.9</span> <span>18.2</span> <span>3.8</span> </div>					965		1.80
	10・20代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>7.8</span> <span>12.2</span> <span>56.7</span> <span>18.9</span> <span>3.3</span> </div>					90		2.01
	30代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>8.4</span> <span>17.8</span> <span>48.7</span> <span>21.4</span> <span>3.4</span> </div>					439		1.94
	40代	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>21.6</span> <span>20.2</span> <span>38.5</span> <span>14.9</span> <span>4.4</span> </div>					436		1.62

① -2 夫婦の働き方別

既婚者の夫婦の働き方別にみると、共働き家庭では、現在の子どもの数が2人以上の割合が5～6割を占めている。

理想の子どもの数、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、夫婦の働き方別による大きな差は見られない。

		n=	■0人 ■1人 ■2人 ■3人 ■4人 ■5人以上					(%)	平均値
現在の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	411	25.8	21.9	36.3	14.4	1.7	1.44	
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	727	19.5	19.3	42.9	15.1	3.0 0.1	1.63	
	共働き家庭(その他)	176	27.3	19.9	35.2	15.3	1.7 0.6	1.46	
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	447	22.6	32.0	31.8	11.4	2.2	1.39	
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	59	18.6	33.9	22.0	22.0	3.4	1.58	
	その他	18	27.8	16.7	38.9	11.1	5.6	1.50	
	理想の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	411	7.1	4.4	40.4	42.1	4.6 1.5	2.37
共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)		727	4.0 5.0		44.8	38.2	5.6 2.3	2.44	
共働き家庭(その他)		176	9.1	6.3	38.6	35.2	6.8 4.0	2.36	
正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭		447	6.3	5.6	44.5	36.5	5.4 1.8	2.35	
非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭		59	5.1	10.2	33.9	40.7	6.8 3.4	2.44	
その他		18	11.1	5.6	16.7	50.0	11.1	5.6	2.61
実際に持つつもり(予定)の子どもの数		共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	411	14.6	17.5	46.2	19.2	2.4	1.77
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	727	12.1	16.5	49.4	18.3	3.6 0.1	1.85	
	共働き家庭(その他)	176	18.2	16.5	42.6	17.0	4.5 1.1	1.77	
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	447	12.1	22.8	43.6	18.3	2.9 0.2	1.78	
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	59	8.5	27.1	35.6	23.7	5.1	1.90	
	その他	18	16.7	11.1	33.3	33.3	5.6	2.00	

<「独身者・結婚意向ある者」の場合>

独身者の理想の子どもの数は2人と回答する割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は0人と回答する割合が既婚者に比べ顕著に高い。

性・年代別みると、理想の子どもの数は男性よりも女性の方が多い。一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は大きな差はみられない。

② - 1 性・年代別

		<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></span> 0人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 1人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: lightgray; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 2人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #ccc; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 3人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #ddd; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 4人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #eee; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 5人以上						n=	(%)	平均値
理想の子どもの数	■男性 計	20.9 8.8 50.1 18.9				0.9 0.3	339		1.71	
	10・20代	16.1 3.2 48.4 29.0				1.6	62		2.02	
	30代	21.1 6.4 54.1 17.4				0.9	109		1.71	
	40代	22.6 12.5 48.2 16.1				0.6	168		1.60	
	■女性 計	12.8 7.5 51.4 26.7				0.8 0.8	360		1.98	
	10・20代	9.8 6.1 53.8 28.0				1.5 0.8	132		2.08	
	30代	9.2 6.3 54.9 28.9				0.7	142		2.06	
	40代	23.3 11.6 41.9 20.9				2.3	86		1.70	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	■男性 計	45.7 11.8 35.1 7.1				0.3	339		1.05	
	10・20代	46.8 3.2 35.5 12.9				1.6	62		1.23	
	30代	44.0 14.7 37.6 3.7					109		1.01	
	40代	46.4 13.1 33.3 7.1					168		1.01	
	■女性 計	41.4 14.2 36.9 6.9				0.3 0.3	360		1.12	
	10・20代	34.1 12.1 43.9 8.3				0.8 0.8	132		1.33	
	30代	38.0 14.1 40.8 7.0					142		1.17	
	40代	58.1 17.4 19.8 4.7					86		0.71	

② - 2 雇用形態別

		<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></span> 0人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 1人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: lightgray; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 2人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #ccc; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 3人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #ddd; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 4人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #eee; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> 5人以上						n=	(%)	平均値
	TOTAL	16.7 8.2 50.8 22.9				0.9 0.6	699		1.85	
理想の子どもの数	正規の社員・職員	16.3 8.0 50.8 23.3				1.0 0.8	400		1.87	
	パート・アルバイト	16.0 10.0 50.0 24.0					100		1.82	
	派遣・嘱託・契約社員	23.0 9.8 49.2 14.8				3.3	61		1.66	
	自営業主・家族従業員	11.9 5.1 55.9 27.1					59		1.98	
	無職・家事	22.5 7.5 42.5 25.0				2.5	40		1.80	
	学生	11.8 8.8 61.8 17.6					34		1.85	
	その他	40.0 20.0 40.0					5		1.60	
	実際に持つつもり(予定)の子どもの数	正規の社員・職員	39.3 14.8 38.5 7.0				0.5	400		1.16
パート・アルバイト		47.0 11.0 36.0 6.0					100		1.01	
派遣・嘱託・契約社員		54.1 9.8 29.5 4.9				1.6	61		0.90	
自営業主・家族従業員		49.2 11.9 33.9 5.1					59		0.95	
無職・家事		37.5 15.0 32.5 15.0					40		1.25	
学生		61.8 5.9 23.5 8.8					34		0.79	
その他		40.0 0.0 60.0					5		1.20	

＜女性 18-34 歳の場合＞（希望出生率の算出根拠）

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 53.8%、3 人が 30.0%、平均 2.10 人であった。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、2 人が 42.4%、0 人が 36.7%、1 人が 11.9%、平均 1.26 人であった。

		n=	理想の子どもの数					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
女性18-34歳	理想の子どもの数	210	9.0	5.7	53.8	30.0	1.0	0.5	2.10
	実際に持つつもり(予定)の子どもの数	210	36.7	11.9	42.4	8.1	0.5	0.5	1.26

※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

＜「子どもが1人以上いる者」の場合＞

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった人は、理想の子どもの数を3人と回答する割合が高い。しかし、実際に持つつもり（予定）の子どもの数をみると、大きな差はなくなっている。

子どもが3歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、理想の子どもの数・実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに同居していた者の方がやや多いものの、大きな差はみられない。

③ - 1 親からの子育て支援別

		n=	理想の子どもの数					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
理想の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	843	3.7	38.4	47.6	7.4	3.0	2.68	
	子育ての手助けがときどきあった	434	5.5	43.5	42.9	5.8	2.3	2.56	
	子育ての手助けがほとんどなかった	219	3.7	43.4	42.5	6.4	4.1	2.64	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	843	17.6	53.7	23.6	4.6	0.5	2.17	
	子育ての手助けがときどきあった	434	19.4	54.8	23.0	2.8	2.09		
	子育ての手助けがほとんどなかった	219	21.9	49.8	23.3	4.6	0.5	2.12	

※親からの子育て支援は、問 26 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親がいなかった場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③ - 2 親との同居有無別

		n=	理想の子どもの数					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
理想の子どもの数	同居していた	378	3.4	38.6	48.7	5.8	3.4	2.67	
	誰とも同居していなかった	1118	4.5	41.3	44.4	7.1	2.8	2.63	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	同居していた	378	15.3	54.0	25.1	4.8	0.8	2.22	
	誰とも同居していなかった	1118	19.9	53.3	22.8	3.8	0.2	2.11	

※親との同居の有無は、問 25 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」としている。

問19 問18で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方に  
うかがいます。

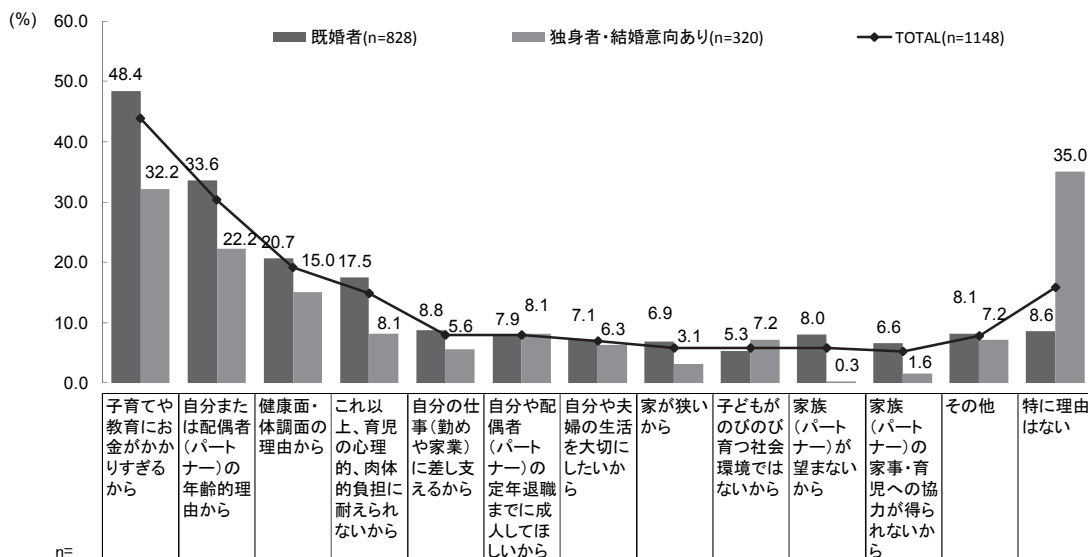
持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理  
由をお答えください。（回答はいくつでも）

【回答者：「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない者（結  
婚意向がない者を除く）】

実際に持つつもり（予定）の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、「子育てや  
教育にお金がかかりすぎるから」（43.9%）が最も高い。以下、「自分または配偶者（パートナー）の年  
齢的理由から」（30.4%）、「健康面・体調面の理由から」（19.1%）と続く。

既婚者の理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（48.4%）、「自分または配偶者（パ  
ートナー）の年齢的理由から」（33.6%）、「健康面・体調面の理由から」（20.7%）等の上位の理由は、  
いずれも全体でみた場合よりも高い割合となっている。

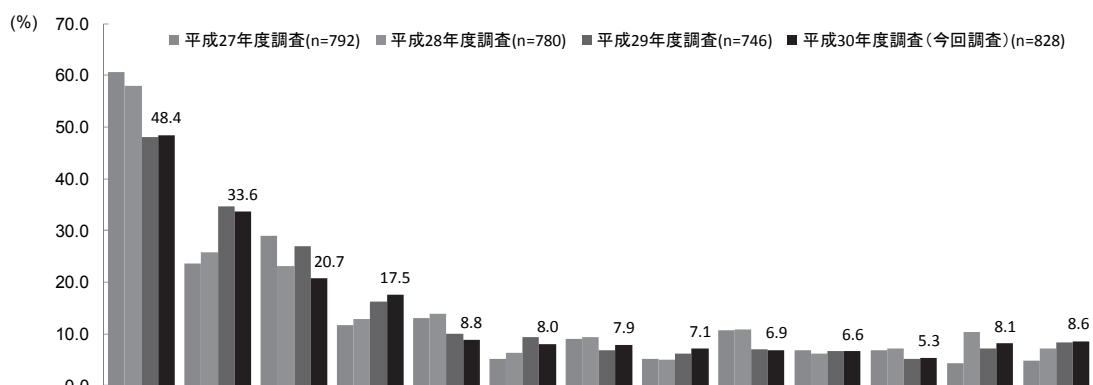
独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者に比べ経済的、年齢的な理由を挙げる割合が低く、  
「特に理由はない」が35.0%を占める。



n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分の仕事(勤め)や家業に差し支えるから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家が狭いから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	家族(パートナー)が望まないから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	その他	特に理由はない
TOTAL	1148	43.9	30.4	19.1	14.9	7.9	7.9	6.9	5.8	5.8	5.8	5.2	7.8
既婚者	828	48.4	33.6	20.7	17.5	8.8	7.9	7.1	6.9	5.3	8.0	6.6	8.1
独身者・結婚意向あり	320	32.2	22.2	15.0	8.1	5.6	8.1	6.3	3.1	7.2	0.3	1.6	35.0

※グラフはTOTALの順でソート

既婚者の回答について4年間の推移を比較すると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「健康面・体調面の理由から」、「自分の仕事（勤めや稼業）に差し支えるから」等は低下している。一方、「自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から」、「これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」という理由は上昇傾向がみられる。



n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	自分の仕事（勤めや稼業）に差し支えるから	家族（パートナー）が望まないから	自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家が狭いから	家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	その他	特に理由はない	
平成30年度調査（今回調査）	828	48.4	33.6	20.7	17.5	8.8	8.0	7.9	7.1	6.9	6.6	5.3	8.1	8.6
平成29年度調査	746	48.0	34.7	26.9	16.2	10.1	9.4	6.8	6.2	7.0	6.6	5.2	7.1	8.3
平成28年度調査	780	57.9	25.8	23.1	12.9	13.8	6.3	9.4	5.0	10.8	6.2	7.1	10.3	7.2
平成27年度調査	792	60.7	23.6	29.0	11.7	13.1	5.1	9.0	5.1	10.7	6.9	6.8	4.3	4.8

※グラフは今回調査の順にソート

※今回調査と前回調査の選択肢変更箇所

平成30年度調査（今回調査） 平成29年度調査	平成28年度調査	平成27年度調査
自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から	高年齢で出産や子育てをするのはいやだから	高年齢で出産や子育てをするのはいやだから
健康面・体調面の理由から	健康面・体調面の理由から	健康上の理由から ほしいけれどもできないから
これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の負担に耐えられないから
家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	家族の家事・育児への協力が得られないから	家族の家事・育児への協力が得られないから
家族（パートナー）が望まないから	家族が望まないから	家族が望まないから
自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから



問20 問18で理想の子ども数が0と回答した人にうかがいます。

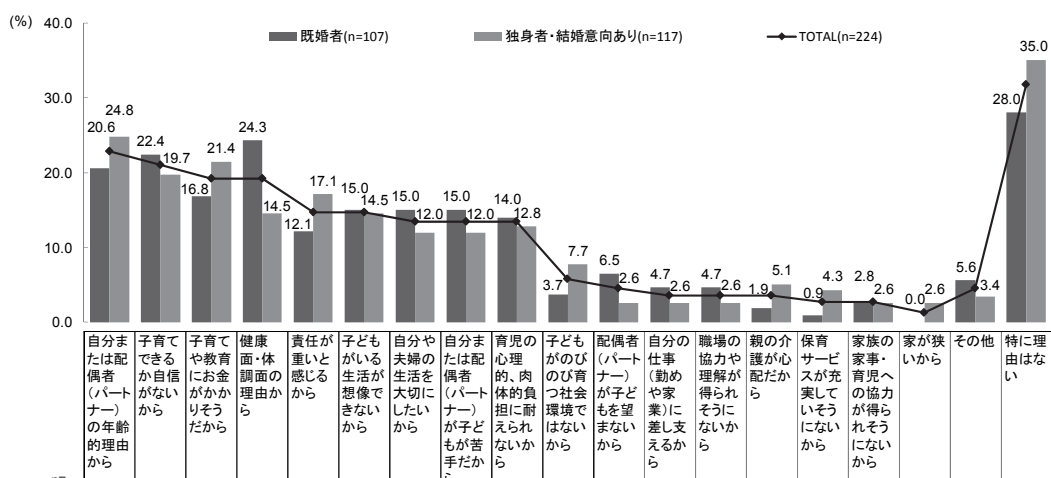
子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。

(回答はいくつでも) 【回答者:「理想の子ども数」を0人と回答した者(結婚意向がない者を除く)】

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(22.8%)、「子育てできるか自信がないから」(21.0%)、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」「健康面・体調面の理由から」(ともに19.2%)等が上位に挙げられている。

既婚者の場合、「健康面・体調面の理由から」(24.3%)、「子育てできるか自信がないから」(22.4%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(20.6%)がそれぞれ2割を超えている。

独身者の場合、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(24.8%)、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(21.4%)がそれぞれ2割を超えている。



		n=	22.8	21.0	19.2	19.2	14.7	14.7	13.4	13.4	13.4	5.8	4.5	3.6	3.6	3.6	2.7	2.7	1.3	4.5	31.7
* 婚姻状況	TOTAL	224	22.8	21.0	19.2	19.2	14.7	14.7	13.4	13.4	13.4	5.8	4.5	3.6	3.6	3.6	2.7	2.7	1.3	4.5	31.7
	既婚者	107	20.6	22.4	16.8	24.3	12.1	15.0	15.0	15.0	14.0	3.7	6.5	4.7	4.7	1.9	0.9	2.8	0.0	5.6	28.0
	独身者・結婚意向あり	117	24.8	19.7	21.4	14.5	17.1	14.5	12.0	12.0	12.8	7.7	2.6	2.6	2.6	5.1	4.3	2.6	2.6	3.4	35.0

※グラフはTOTALの順でソート

問21 女性：1人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。  
 男性：1人目のお子さんが産まれた時の配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。  
 (回答は1つ) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

1人目の子どもを出産したときの仕事の状況としては、「妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した」が40.2%と最も高く、「育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)」が23.9%、「妊娠前から無職だった」が22.1%となっている。仕事を継続したのは29.4%、退職したのは41.9%である。

- 育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 育児休業を取得せず、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 妊娠前から無職だった
- 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 子どもが3歳になって以降に退職した
- わからない・答えたくない

		n=	(% )					
	TOTAL	1591	23.9	5.5	22.1	40.2	1.3	0.4 6.6
Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)	男性	739	26.0	6.8	23.5	33.6	0.8	0.5 8.8
	女性	852	22.1	4.5	20.8	45.9	1.8	0.4 4.7

問22 仕事を辞めた方にうかがいます。  
 1人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。  
 (回答は1つ) 【回答者：1人目の子どもの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた者】

仕事を辞めた理由としては、「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」が56.2%、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった」が20.1%である。

性別にみると、女性では男性が考えるよりも「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」(女性：52.1%、男性：62.8%)を理由とする割合が低く、「その他」(女性：19.3%、男性：5.8%)の理由が多い。「その他」の具体的な内容としては、体調面、社内の人間関係や制度、転居等により退職したという記述がみられた。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- その他
- 特にない

		n=	(% )					
	TOTAL	667	56.2	6.4	20.1	1.0	14.1	2.1
Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)	男性	258	62.8	6.2	20.5	1.6	5.8 3.1	
	女性	409	52.1	6.6	19.8	0.7	19.3	1.5

問23 お子さんが2人以上いるすべての方にかがいます。  
 女性：2人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。  
 男性：2人目のお子さんが産まれた時の配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。  
 (回答は1つ) 【回答者：子どもが2人以上いる者】

2人目出産時の仕事の状況としては、「妊娠前から無職だった(1人目出産後、離職している場合を含む)」が51.4%と最も高く、「育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)」が21.4%である。仕事を継続したのは27.2%と1人目の場合と大きな差はないが、妊娠前から無職だった割合が非常に高い。

- 育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 育児休業を取得せず、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 妊娠前から無職だった(1人目出産後、離職している場合を含む)
- 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 子どもが3歳になって以降に退職した
- わからない・答えたくない

		n=	(%)					
	TOTAL	1077	21.4	5.8	51.4	11.9	1.7	7.1
Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)	男性	529	22.9	6.0	46.9	11.7	2.1	9.8
	女性	548	20.1	5.5	55.8	12.0	1.3	4.6

問24 仕事を辞めた方にかがいます。  
 2人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。  
 (回答は1つ) 【回答者：2人目の子どもの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた者】

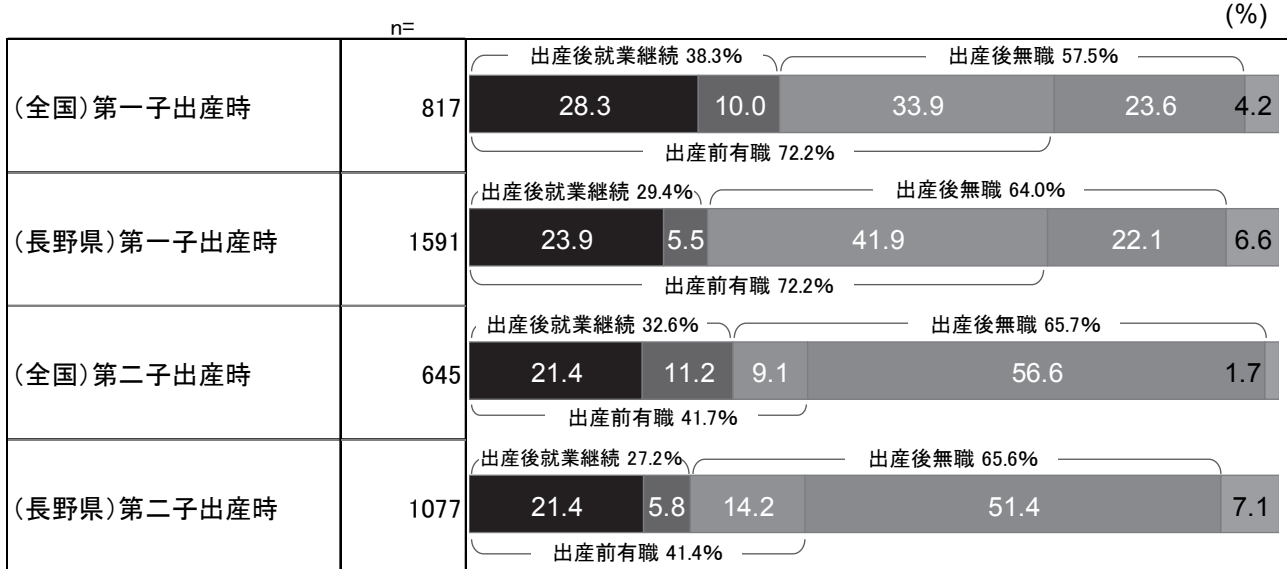
仕事を辞めた理由としては、「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」が52.9%、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった」が26.8%である。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- その他
- 特にない

		n=	(%)					
	TOTAL	153	52.9	5.9	26.8	0.7	9.8	3.9
Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)	男性	76	53.9	2.6	31.6	6.6	5.3	
	女性	77	51.9	9.1	22.1	1.3	13.0	2.6

全国を対象に実施した「第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（国立社会保障・人口問題研究所）と比較した結果は以下のとおりである。選択肢が異なるため、参考として掲載する。

■ 就業継続（育児休業利用） ■ 就業継続（育児休業利用なし） ■ 出産退職 ■ 妊娠前から無職 ■ 不詳



※選択肢は「第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」に合わせるため、以下のように対応させている。

第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）	平成30年度調査（今回調査）
就業継続（育児休業利用）	育児休業を取得し、継続して働いた（働いている、または働く予定である）
就業継続（育児休業利用なし）	育児休業を取得せず、継続して働いた（働いている、または働く予定である）
出産退職	妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した 子どもが3歳になって以降に退職した
妊娠前から無職	妊娠前から無職だった 妊娠前から無職だった（1人目出産後、離職している場合を含む）※第二子の場合
不詳	わからない・答えたくない

問25 お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。  
 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親と同居していましたか。(回答は1つ)  
 【回答者：子どもが1人以上いる者】

回答者本人の親と同居していたのは2割弱(父親：15.9%、母親：15.3%)、徒歩で30分程度の別居(近居)は約3割(父親：31.9%、母親：33.1%)である。  
 配偶者の親と同居していたのは約1割(父親・母親ともに10.2%)、徒歩で30分程度の別居(近居)は約3割(父親：30.4%、母親：33.4%)である。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いなかった ■わからない

	n=	(%)				
あなたの父親	1591	15.9	31.9	33.6	16.5	2.1
あなたの母親	1591	15.3	33.1	39.6	10.1	11.8
配偶者(パートナー)の父親	1591	10.2	30.4	38.7	18.5	2.2
配偶者(パートナー)の母親	1591	10.2	33.4	43.4	10.7	2.3

問26 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答は1つ)  
 【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は15.0%で、9割弱は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が29.4%であり、女親の父親と似た傾向を示している。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が約4割(42.2%)となっている。

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	(%)			
男親の父親	1278	42.2	38.1	12.1	7.7
男親の母親	1380	29.4	41.1	17.5	12.0
女親の父親	1279	29.7	42.6	16.7	10.9
女親の母親	1405	15.0	37.1	28.5	19.4

※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

同居状況別にみると、同居の場合の方が日常的な手助けが多く、別居（近居以外）の場合には手助けがほとんどない割合が高い。

同居の場合、女親の母親からは63.9%が、男親の母親からは39.5%が、手助けが「日常的にあった」としている。一方、別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けが「ひんぱんにあった」、「ときどきあった」がそれぞれ3割を超えており、男親の母親と女親の父親の手助けが「ひんぱんにあった」はそれぞれ2割超、「ときどきあった」はそれぞれ4割超と少なくない。

### ① 同居

■ ほとんどなかった    ■ ときどきあった    ■ ひんぱんにあった    ■ 日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	241	28.6	35.3	13.3	22.8
男親の母親	248	8.1	30.6	21.8	39.5
女親の父親	174	23.0	30.5	12.1	34.5
女親の母親	158	8.2	13.3	14.6	63.9

### ② 別居（近居）

■ ほとんどなかった    ■ ときどきあった    ■ ひんぱんにあった    ■ 日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	500	32.2	44.2	16.8	6.8
男親の母親	524	19.7	44.5	25.0	10.9
女親の父親	492	22.2	42.3	23.8	11.8
女親の母親	535	8.0	32.0	35.3	24.7

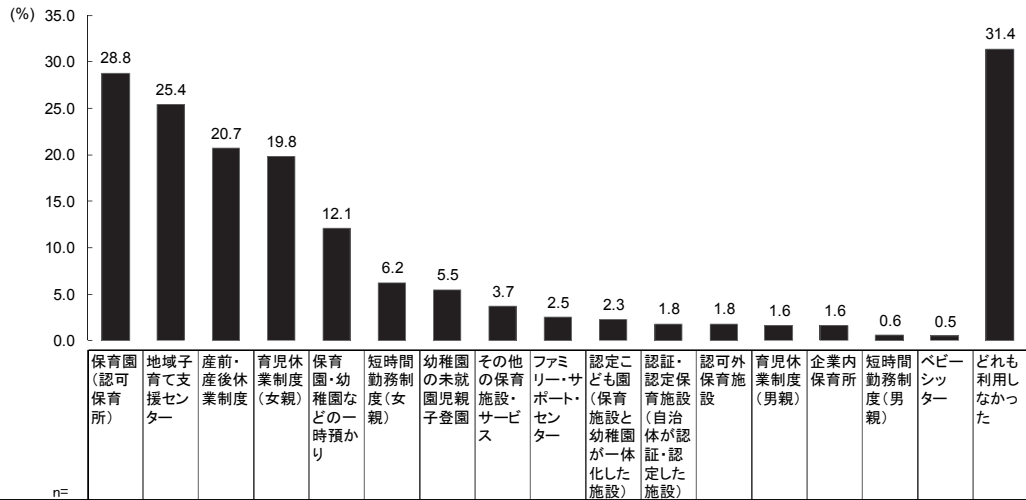
### ③ 別居（近居以外）

■ ほとんどなかった    ■ ときどきあった    ■ ひんぱんにあった    ■ 日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	537	57.5	33.7	7.1	1.7
男親の母親	608	46.5	42.4	9.4	1.6
女親の父親	613	37.7	46.3	12.4	3.6
女親の母親	712	21.8	46.2	26.4	5.6

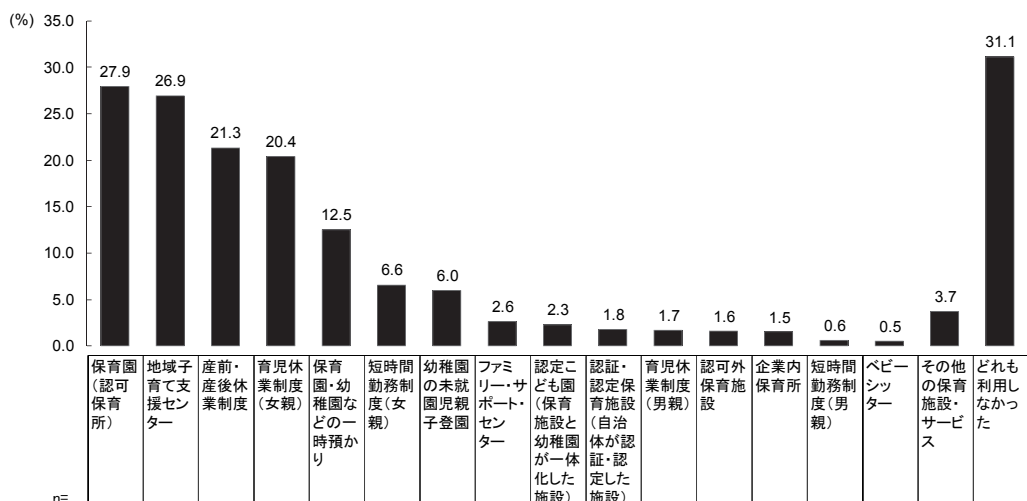
問27 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」が28.8%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」が25.4%、「産前・産後休業制度」が20.7%となっている。「女親が育児休業制度を取得した」は19.8%、「男親が育児休業を取得した」は1.6%である。



		n=	28.8	25.4	20.7	19.8	12.1	6.2	5.5	3.7	2.5	2.3	1.8	1.8	1.6	1.6	0.6	0.5	31.4
			保育園(認可保育所)	地域子育て支援センター	産前・産後休業制度	育児休業制度(女親)	保育園・幼稚園などの一時預かり	短時間勤務制度(女親)	幼稚園の未就園児親子登園	その他の保育施設・サービス	ファミリーサポートセンター	認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)	認証・認定保育施設(自治体が認証・認定した施設)	認可外保育施設	育児休業制度(男親)	企業内保育所	短時間勤務制度(男親)	ベビーシッター	どれも利用しなかった
	TOTAL	1591	28.8	25.4	20.7	19.8	12.1	6.2	5.5	3.7	2.5	2.3	1.8	1.8	1.6	1.6	0.6	0.5	31.4
* 性年代	■男性 計	739	27.9	17.6	18.7	19.5	12.0	6.0	3.9	3.4	1.9	2.2	3.0	1.5	2.0	1.8	1.1	0.4	35.5
	10・20代	14	35.7	42.9	42.9	28.6	21.4	7.1	7.1	28.6	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3
	30代	186	30.6	23.1	28.0	25.8	13.4	8.6	5.4	5.9	1.6	2.7	1.1	2.2	3.2	1.6	1.6	0.5	25.8
	40代	539	26.7	15.0	14.8	17.1	11.3	5.0	3.3	1.9	1.3	1.7	3.3	1.1	1.5	1.7	0.7	0.2	39.3
	■女性 計	852	29.7	32.2	22.5	20.1	12.2	6.3	6.8	4.0	2.9	2.5	0.7	2.0	1.3	1.4	0.1	0.6	27.9
	10・20代	77	26.0	36.4	35.1	32.5	6.5	5.2	1.3	3.9	3.9	1.3	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	1.3	20.8
	30代	375	30.4	41.9	26.4	22.9	13.3	8.5	9.3	3.7	2.9	3.5	0.8	1.3	1.6	1.1	0.3	0.8	23.2
	40代	400	29.8	22.3	16.5	15.0	12.3	4.5	5.5	4.3	2.8	1.8	0.8	3.0	0.8	2.0	0.0	0.3	33.8

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭(どちらも正規社員・職員)では、「育児休業制度(女親)」(56.4%)のほか、「産前・産後休業制度」(55.1%)、「保育園(認可保育所)」(45.9%)、「短時間勤務制度(女親)」(22.6%)を利用している割合が高い。



		n=																	
		保育園(認可保育所)	地域子育て支援センター	産前・産後休業制度	育児休業制度(女親)	保育園・幼稚園などの一時預かり	短時間勤務制度(女親)	幼稚園の未就園児親子登園	ファミリーサポートセンター	認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)	認証・認定保育施設(自治体が認定・認定した施設)	育児休業制度(男親)	認可外保育施設	企業内保育所	短時間勤務制度(男親)	ベビーシッター	その他の保育施設・サービス	どれも利用しなかった	
TOTAL		1425	27.9	26.9	21.3	20.4	12.5	6.6	6.0	2.6	2.3	1.8	1.7	1.6	1.5	0.6	0.5	3.7	31.1
*夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	305	45.9	20.0	55.1	56.4	9.5	22.6	3.9	2.3	3.9	2.6	1.3	1.3	3.0	0.7	1.0	1.3	18.7
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	585	28.0	24.4	10.9	10.8	13.7	2.2	4.3	2.4	2.1	1.4	1.2	1.4	1.4	0.5	0.0	3.1	35.7
	共働き家庭(その他)	128	35.9	24.2	23.4	21.9	13.3	4.7	7.0	2.3	3.9	3.1	1.6	1.6	1.6	0.8	1.6	5.5	25.0
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	346	11.0	37.0	10.4	6.9	13.3	1.7	10.4	3.5	0.9	0.9	3.2	2.3	0.6	0.9	0.6	6.4	35.5
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	48	14.6	33.3	8.3	8.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	4.2	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	4.2	37.5
	その他	13	23.1	38.5	7.7	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	30.8



問28 実際を取得した育児休業の期間と、理想の育児休業の期間をそれぞれお答えください。  
【回答者：育児休業取得者】

女親が実際を取得した（取得する予定の）育児休業期間は、「1～2年未満」が56.8%を占め、「1年未満」及び「2～3年未満」はともに12.7%である。

一方、理想の育児休業期間は、5割強（54.6%）が「3年以上」と回答しており、平均では2.4年となっている。

① 女親の育児休業期間

■ 1年未満    ■ 1～2年未満    ■ 2～3年未満    ■ 3年以上    ■ わからない・覚えていない

	n=	(% )					平均値
実際を取得した(取得する予定の)育児休業期間	315	12.7	56.8	12.7	8.3	9.5	1.2
理想の育児休業期間	315	1.3	24.4	19.7	54.6		2.4

② 男親の育児休業期間

男性自身及び女性にとっての配偶者が対象であるが、取得者が少ないため参考値として掲載する。

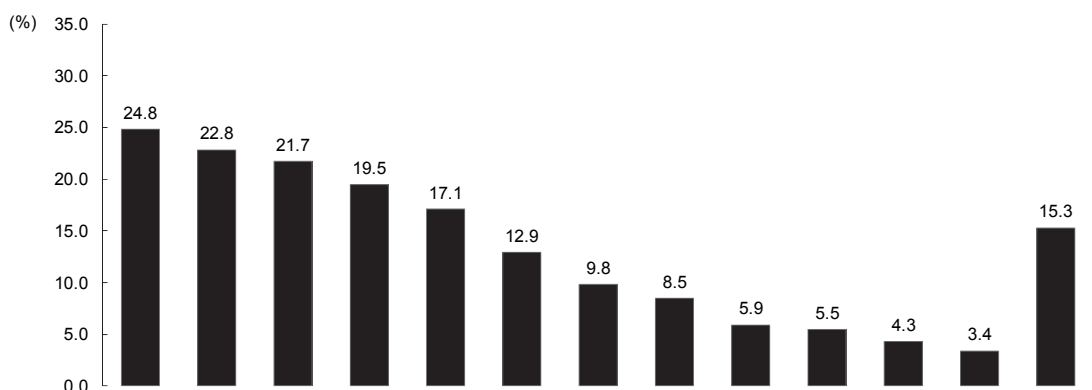
■ 1年未満    ■ 1～2年未満    ■ 2～3年未満    ■ 3年以上    ■ わからない・覚えていない

	n=	(% )					平均値
実際を取得した(取得する予定の)育児休業期間	26	61.5		11.5	3.8	23.1	0.3
理想の育児休業期間	26	57.7		23.1	7.7	11.5	0.9

**問29 男親が育児休業を取得しなかった、または理想の育児休業期間より実際に取得した期間が短い理由をお答えください。(回答はいくつでも)**  
**【回答者：男親が育児休業を取得しなかった者、または理想より実際の取得が短かった者】**

男親が育児休業を取得しなかった理由は、「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」(24.8%)の割合が最も高く、次いで「そもそも取得をする必要性を感じていなかったから」(22.8%)、「配偶者(パートナー)や家族が家事・育児を担ってくれていたから」(21.7%)と続く。

性・年代別にみると、男性30代では、「配偶者(パートナー)や家族が家事・育児を担ってくれていたから」(36.7%)、「休業取得による、所得減等の心配があったから」(25.0%)を理由とする割合が高い。また、女性30代では、「そもそも取得をする必要性を感じていなかったから」(31.1%)、「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から」(25.1%)の割合が高い。



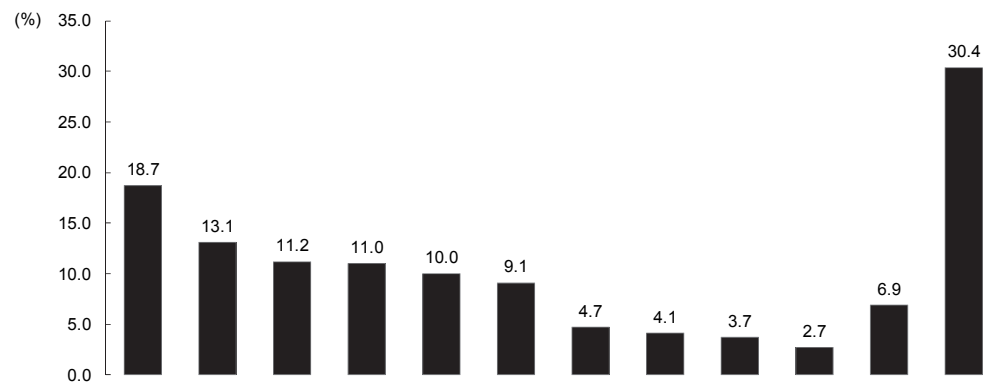
	n	会社で育児休業制度が整備されていなかったから	そもそも取得をする必要性を感じていなかったから	配偶者(パートナー)や家族が家事・育児を担ってくれていたから	職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から	休業取得による、所得減等の心配があったから	残業の多い職場だったから	育児休業は男性ではなく、女性が取得するべきものだと思っていたから	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから	会社での手続き等が煩雑でわかりづらかった、または制度について十分わかっていなかったから	休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できない)と思ったから	配偶者(パートナー)や家族からの後押しがなかったから	その他	わからない・覚えていない
TOTAL	1501	24.8	22.8	21.7	19.5	17.1	12.9	9.8	8.5	5.9	5.5	4.3	3.4	15.3
■男性 計	710	22.8	15.9	32.0	17.7	18.7	15.2	7.3	9.4	6.8	5.9	2.5	2.0	14.9
10・20代	12	16.7	0.0	33.3	0.0	41.7	16.7	0.0	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	25.0
30代	180	20.6	15.0	36.7	17.2	25.0	17.2	8.3	11.7	8.3	6.7	2.2	3.3	10.0
40代	518	23.7	16.6	30.3	18.3	16.0	14.5	7.1	8.5	6.0	5.2	2.5	1.5	16.4
■女性 計	791	26.5	29.0	12.5	21.1	15.5	10.9	12.0	7.7	5.1	5.2	5.9	4.7	15.5
10・20代	74	24.3	23.0	6.8	20.3	21.6	10.8	9.5	9.5	5.4	1.4	1.4	8.1	16.2
30代	351	27.1	31.1	12.3	25.1	18.2	11.7	12.0	9.7	5.1	5.7	7.1	4.3	12.5
40代	366	26.5	28.1	13.9	17.5	11.7	10.1	12.6	5.5	4.9	5.5	5.7	4.4	18.3

※「子どもが3歳になるまでの間は働いていなかった」の回答は除いている。

問30 女親が育児休業を取得しなかった、または理想の育児休業期間より実際に取得した期間が短い理由をお答えください。  
 【回答者：女親が育児休業を取得しなかった者、または理想より実際の取得が短かった者】

女親が育児休業を取得しなかった理由は、「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」(18.7%)、「そもそも取得をする必要性を感じていなかったから」(13.1%)が主な理由である。

性・年代別にみると、女性40代では、「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」(24.0%)「休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できない)と思ったから」(14.6%)といった会社の制度や復職に対する不安を挙げる割合が高い。女性10・20代では「休業取得による、所得減等の心配があったから」が24.1%と高くなっている。



		n=	会社で育児休業制度が整備されていなかったから	そもそも取得をする必要性を感じていなかったから	休業取得による、所得減等の心配があったから	職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から	休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できない)と思ったから	配偶者(パートナー)や家族が家事・育児を担ってくれていたから	残業の多い職場だったから	会社での手続き等が煩雑でわかりづらかった、または制度について十分わかっていなかったから	配偶者(パートナー)や家族からの後押しがなかったから	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから	その他	わからない・覚えていない
TOTAL		1041	18.7	13.1	11.2	11.0	10.0	9.1	4.7	4.1	3.7	2.7	6.9	30.4
* 性年代	■ 男性 計	478	14.9	10.5	9.2	7.7	6.5	11.7	2.9	3.3	2.1	2.9	3.8	40.0
	10・20代	9	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4
	30代	114	16.7	6.1	10.5	13.2	5.3	11.4	3.5	4.4	0.0	2.6	1.8	42.1
	40代	355	14.6	12.1	8.5	6.2	6.5	12.1	2.8	3.1	2.8	2.8	4.5	39.2
	■ 女性 計	563	22.0	15.3	13.0	13.9	13.0	6.9	6.2	4.8	5.2	2.5	9.6	22.2
	10・20代	58	17.2	8.6	24.1	13.8	13.8	1.7	8.6	5.2	1.7	1.7	6.9	32.8
	30代	238	21.0	18.1	14.3	13.9	10.9	5.5	6.7	6.3	5.5	2.5	11.8	18.5
	40代	267	24.0	14.2	9.4	13.9	14.6	9.4	5.2	3.4	5.6	2.6	8.2	23.2

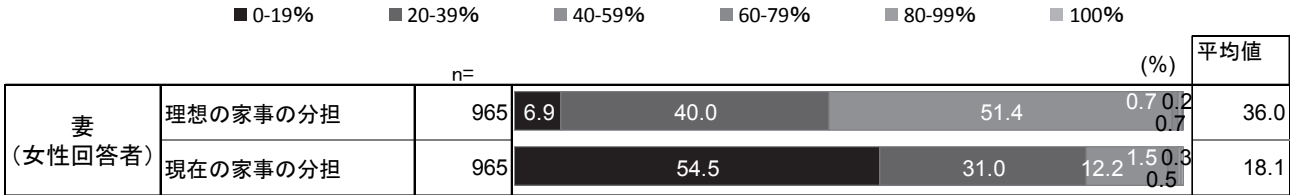
※「子どもが3歳になるまでの間は働いていなかった」の回答は除いている。

問31 現在結婚（事実婚を含む）されている方にうかがいます。  
 あなた方ご夫婦の現実の分担と、理想の分担をそれぞれお答えください。【回答者：既婚者】

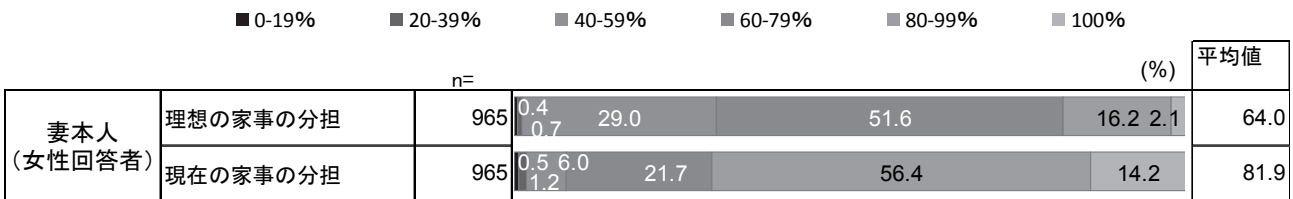
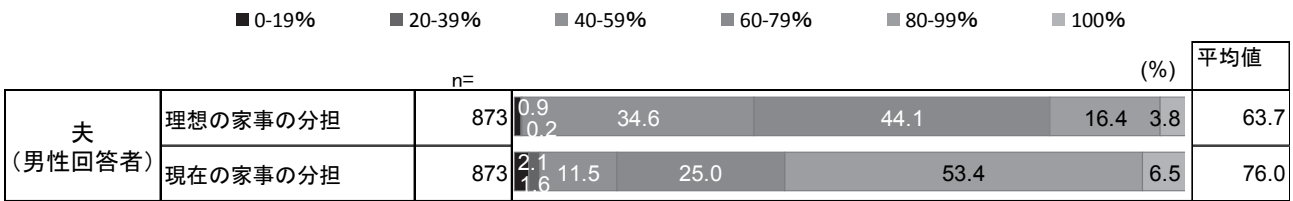
夫の家事の分担状況を性別にみると、理想の家事の分担の平均は、男性が36.3%、女性が36.0%であるのに対し、現在の家事の分担の平均は、男性が24.0%、女性が18.1%であり、夫の家事分担は理想より低い。

妻の家事の分担状況を性別にみると、理想の家事の分担の平均は、男性が63.7%、女性が64.0%であるのに対し、現在の家事の分担の平均は、男性が76.0%、女性が81.9%であり、妻の家事分担は理想より高い。

① - 1 家事の分担：夫



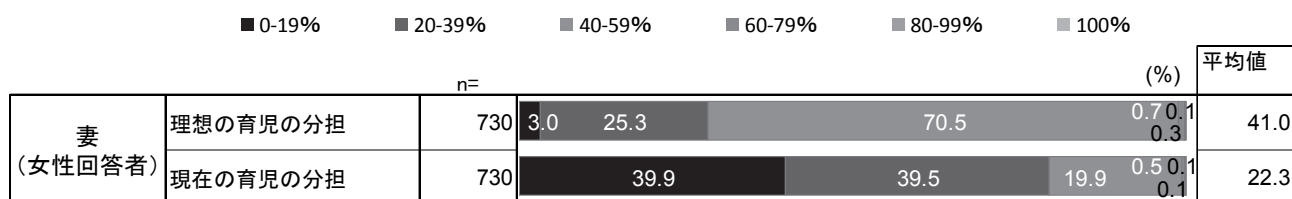
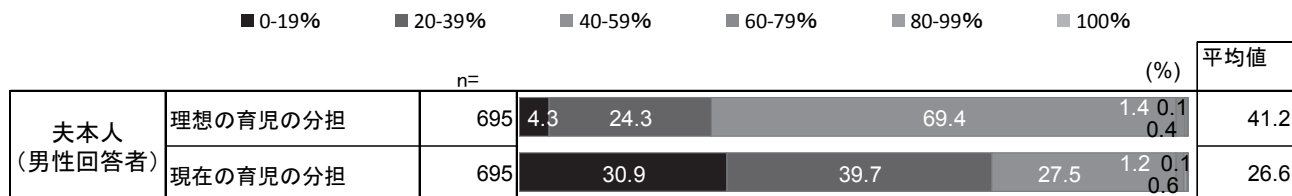
① - 2 家事の分担：妻



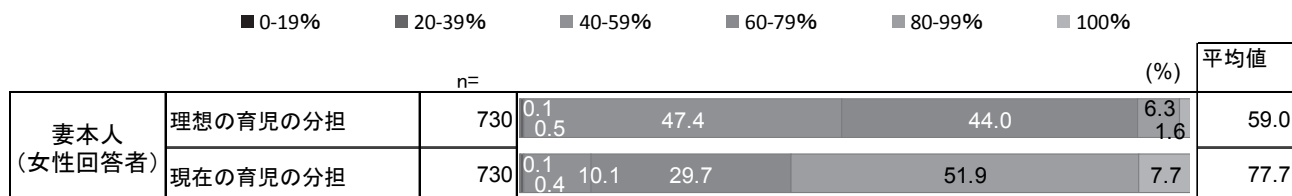
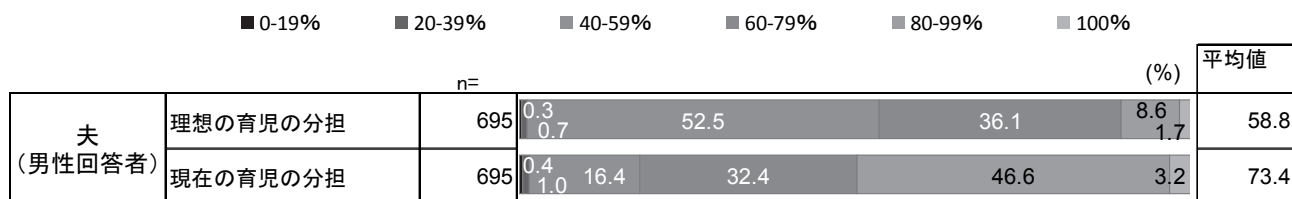
夫の育児の分担状況を性別にみると、理想の育児の分担の平均は、男性が41.2%、女性が41.0%であるのに対し、現在の育児の分担の平均は、男性が26.6%、女性が22.3%であり、夫の育児分担は理想より低い。

妻の育児の分担状況を性別にみると、理想の育児の分担の平均は、男性が58.8%、女性が59.0%であるのに対し、現在の育児の分担の平均は、男性が73.4%、女性が77.7%であり、妻の育児分担は理想より高い。

② - 1 育児の分担：夫（子どもがいる者のみ）



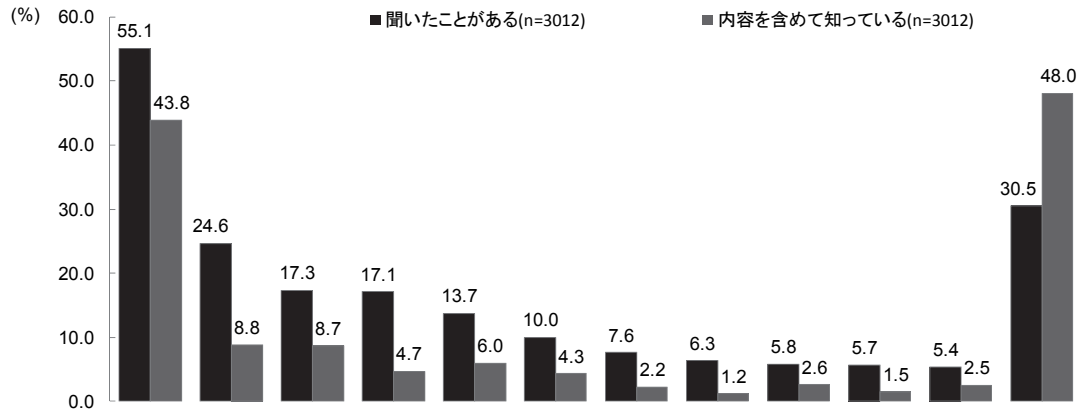
② - 2 育児の分担：妻（子どもがいる者のみ）



問32 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はいくつでも)

結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポート」(55.1%)が最も高く、次いで「里親制度」(24.6%)、「チャイルドライン」(17.3%)、「長野県婚活支援センター」(17.1%)となっている。

内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポート」(43.8%)が最も高い。

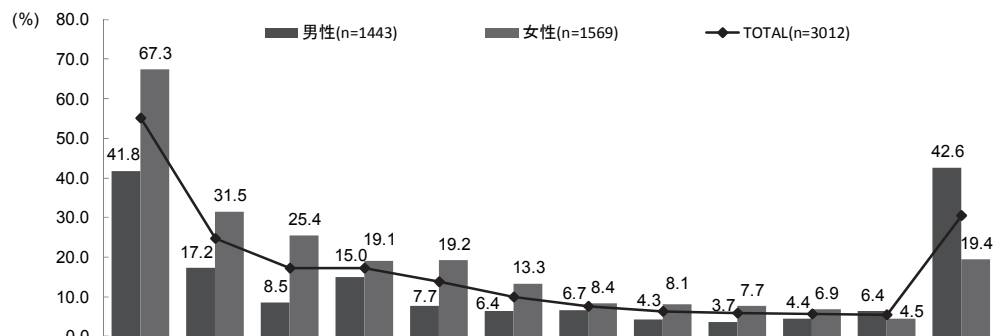


	n=	ながの子育て家庭優待パスポート	里親制度	チャイルドライン	長野県婚活支援センター	児童相談所全国共通ダイヤル189	家庭の日(毎月第3日曜日)	結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」	いい育児の日(11月19日)	信州やまほいく(信州型自然保育)	信州こどもカフェ	イクボス・温かボス	あてはまるものはない
聞いたことがある	3012	55.1	24.6	17.3	17.1	13.7	10.0	7.6	6.3	5.8	5.7	5.4	30.5
内容を含めて知っている	3012	43.8	8.8	8.7	4.7	6.0	4.3	2.2	1.2	2.6	1.5	2.5	48.0

性・年代別にみると、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、いずれの項目も女性は男性よりも高く、特に「ながの子育て家庭優待パスポート」は、女性30～40代で内容を含めて知っている割合が半数以上となっている。

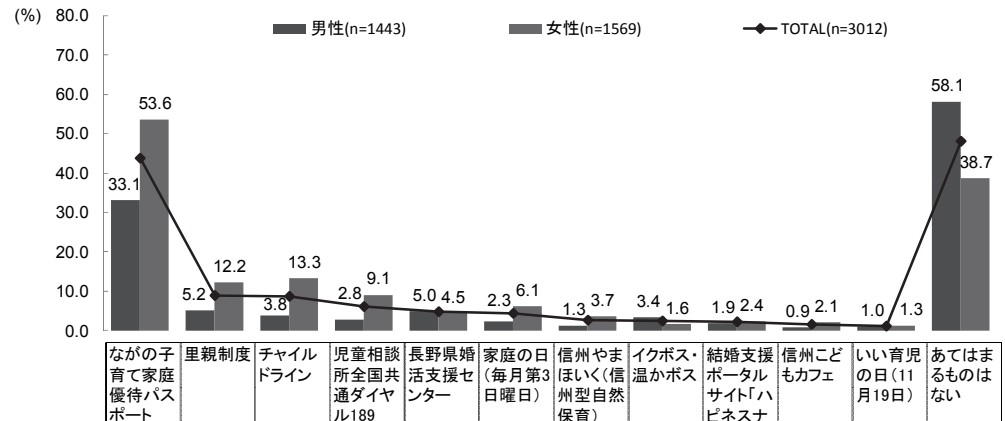
一方、聞いたことがあるものとしては、男性10・20代では「チャイルドライン」(27.0%)、男性30代では「イクボス・温かボス」(7.8%)がそれぞれ高い。

① 聞いたことがあるもの



		n=	ながの子育て家庭優待パスポート	里親制度	チャイルドライン	長野県婚活支援センター	児童相談所全国共通ダイヤル189	家庭の日(毎月第3日曜日)	結婚支援ポータルサイト「ハビネスナビ信州」	いい育児の日(11月19日)	信州やまほいく(信州型自然保育)	信州こどもカフェ	イクボス・温かボス	あてはまるものはない
TOTAL		3012	55.1	24.6	17.3	17.1	13.7	10.0	7.6	6.3	5.8	5.7	5.4	30.5
* 性年代	■ 男性 計	1443	41.8	17.2	8.5	15.0	7.7	6.4	6.7	4.3	3.7	4.4	6.4	42.6
	10・20代	126	26.2	15.9	27.0	15.1	10.3	5.6	5.6	10.3	4.8	4.0	7.9	50.0
	30代	396	42.4	16.2	7.6	13.4	7.8	4.0	7.8	4.0	4.0	4.8	7.8	40.4
	40代	921	43.6	17.8	6.4	15.7	7.3	7.6	6.4	3.6	3.4	4.2	5.6	42.5
	■ 女性 計	1569	67.3	31.5	25.4	19.1	19.2	13.3	8.4	8.1	7.7	6.9	4.5	19.4
	10・20代	255	60.4	26.7	34.1	19.6	19.2	3.5	9.4	5.9	7.8	6.3	4.7	24.7
	30代	642	70.9	32.6	20.6	18.4	18.5	11.7	9.7	10.1	9.0	6.4	4.4	16.5
	40代	672	66.5	32.3	26.8	19.5	19.8	18.6	6.8	7.0	6.4	7.6	4.6	20.2

② 内容を含めて知っているもの



		n=	ながの子育て家庭優待バスポート	里親制度	チャイルドライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	長野県婚活支援センター	家庭の日(毎月第3日曜日)	信州やまほいく(信州型自然保育)	イクボス・温かボス	結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」	信州こどもカフェ	いい育児の日(11月19日)	あてはまるものはない
	TOTAL	3012	43.8	8.8	8.7	6.0	4.7	4.3	2.6	2.5	2.2	1.5	1.2	48.0
* 性年代	■ 男性 計	1443	33.1	5.2	3.8	2.8	5.0	2.3	1.3	3.4	1.9	0.9	1.0	58.1
	10・20代	126	18.3	3.2	13.5	4.0	5.6	0.8	2.4	5.6	2.4	0.8	2.4	65.9
	30代	396	34.3	4.3	3.3	2.3	5.8	1.3	1.5	4.5	2.3	1.5	0.8	54.8
	40代	921	34.6	5.9	2.7	2.8	4.6	2.9	1.1	2.6	1.7	0.7	0.9	58.4
	■ 女性 計	1569	53.6	12.2	13.3	9.1	4.5	6.1	3.7	1.6	2.4	2.1	1.3	38.7
	10・20代	255	43.1	12.9	16.9	8.2	3.9	1.2	4.7	1.6	2.4	2.7	1.2	46.7
	30代	642	58.9	10.9	8.7	8.9	3.4	5.0	4.0	1.1	3.3	1.7	1.2	35.2
	40代	672	52.5	13.1	16.2	9.5	5.7	9.1	3.0	2.1	1.5	2.2	1.5	39.0



**問33 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。**

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

**【相談・情報に関すること】**

- ・現在の多くの支援は子育てですが、妊活をしている人や子どもがいない家の主婦は相談や利用できる施設が少ない。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・まだ子どもを持っていない人が子どもと関われる方法をもっとアナウンスしてほしい（行事やボランティアグループの紹介、支援制度のマッチングなど）（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・待機児童の詳細がわかりにくい。妊娠中にできる保活、出産後でもできる保活のことなど明確に知りたい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・子育て支援センターやイベントなど写真で雰囲気をしれたら良い（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・子どもを遊ばせる施設があることを知る機会がなく、利用できなかった。もっと施設の周知に力を入れてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・保健センターや支援の機関は実際には予約を取ったりあまり気軽にすぐ相談できる雰囲気ではない。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・夫婦とも県外からの移住者、夫は残業の多く朝早く帰りが遅い仕事のため、ほとんどの家事育児をしていて自分の体力、精神力に余裕がない。近くに相談できる人、頼れる人がいない。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・就業支援体制がない。もしくは知るすべがない。役所の人間は聞かないと答えない。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）

**【施設や設備に関すること】**

- ・進学に伴い公共機関の利便性を向上してほしい。地域間の差が大きい。（通学費用の負担が大きい）（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・児童センターを充実させてほしい。電車や駅を子連れで利用しやすい環境にしてほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・子連れで行動することはかなりの負担。託児所よりももっと気軽に利用出来る施設やサービスが欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・オムツ替えができるトイレが少ない気がします。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・屋内で子供が安全に遊ぶ公共施設がもっとあればいいと思う。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・子供が遊ぶスペースや、イベントなどは小学生以上や未就学児などの線引きが多く、小学生と園児の兄弟で遊ぶ場所がなくて困っている。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・県内全ての保育園～高校まででエアコン設置率 100 パーセント願いたい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）

**【結婚支援全般に関すること】**

- ・各市町村でお見合いなども行っているが、人口が少ないのでなかなか理想の人に巡り会えない。お見合いという形でなく、人々が集える場所を作ってほしい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・出会いの場、同じ状況の人とコミュニケーションを取れる場が欲しい。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・出会いの場・地域でのコミュニケーションが取りやすい環境の提供。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・気軽な出会いの場所があるといい。ここに集まる人は皆独身というようなカフェや施設。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）

- ・気軽に婚活相談できる場所がほしいです。(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・独身の人へ、支援が必要か否かを調査して、支援希望者には無償で紹介やマッチング照会等、年齢に関わらず実施して欲しい。(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・全員に結婚させるつもりじゃなく、したい人だけに限って集中して支援すべき。(男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)

#### 【若者支援全般に関すること】

- ・若者の地元企業への就職セミナーの回数が増えると良い。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・若者を引き留めたり、呼び止められる経済政策。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・若者の収入を増やす政策が必要です。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・若い人たちにもっと結婚や出産に夢や希望を持ってもらえるような魅力的な制度改革をして欲しい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・若い人は結婚しても金銭的に余裕がないと思うので結婚式をあげられない人も多くいると思います。お祝い金や結婚式の多少の援助金がもらえていたら嬉しかった。(女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる)
- ・若者は年収が低いので、結婚費用を補助して欲しい。若者のお金に対する不安をなくすことが重要だと思います。(男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・若い人ほど年収が低く、結婚に踏み切れないから出産の一時金や児童手当などの金額を上げるべき。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)

#### 【子育て支援全般に関すること】

- ・今結婚して子供がいっしょにやる方に、もう一人産んで貰えるような、政策をしてほしい。祝い金や教育費用の援助など。(男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・自治体によって子育て支援に差があるので、ある程度、最低ライン子どもを育て安い環境作りは統一してほしい。(女性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・自治体により子育て支援金の額に結構な差がある。不公平感をなくしてほしい。(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもがいる)
- ・教育の金銭的な負担をなくしてほしい(大学まで)(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・児童手当は小さいうちはおむつ程度しかかからず、実際は中学校～高校がお金が必要。小さいうちより中学校～高校位の手当を充実して欲しい。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・とにかく困っているのは収入に対して子育てにお金がかかること。子供を育てやすくなるように金銭的な補助や税金の緩和などがあると助かります。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子供が小さい時に保健師さんの家庭訪問が度々あるとよかった。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・習い事等の送迎できる人がいないと習い事を諦めるしかない。家事代行サービスや病気の子供の預かり場所がない。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子どもを抱っこしてる時、スーパーなどで手助けがほしいと思う時がある。(女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる)
- ・選挙のはがきがきても、小さな子供をつれての投票は困難。期日前投票ができることはありがたいが、実際問題大変。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・利用しやすく、分かりやすい制度があると使いやすいと思う。子どもがいると、手続きとか大変なので手続きしなくても利用できるものもいい。とにかく簡単にしてほしい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・親が病気になったときの毎日の家事、育児のサポート。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・同居してなくても介護があるのでそれを仕事として受け入れてほしい。介護のために保育時間や保育園へ入れて欲しい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・専業主婦だが病気により十分な家事、育児が出来ない配偶者を持つ家庭への理解、サポートが少ない(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)

- ・急に、子どもを預けたい状況の時、預かってくれる民間の所がない。ひとり親なのですが、子ども食堂があれば、食べ物の心配が無くなる。(女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる)
- ・母子家庭や父子家庭に対する制度をもう少し考えて欲しい。(女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる)
- ・多子世帯の給食費の補助があったら嬉しい。保育園までは、色々な補助があるが、小学校に上がると給食費がかなり負担になる。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・長野子育て家庭優待パスポートあまり使い道が無いし、多子世帯応援プレミアムも使った事が無い。子供が 3 人以上いる家庭にもう少し支援を多くして欲しい(予防接種の補助等)。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子育て支援パスポートをもっと色々な場所で、色々なサービスを受けるようにしたい。子供が小さいうちだけではなく、成人するまで、支援をして頂きたいと思います。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子育て支援パスポートをもっと使用できるよう、官民連携した制度にして、家計負担を軽減してほしい。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)

### 【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・子育てをしながら仕事を探したり、就職出来る支援をもっと情報が欲しい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子供を安心して預けられる所がなく、ハローワークに通う時も最初の講習は子供連れは無理と言われ実費で一時預かりにお願いしたり、子供連れて仕事探しのにすごく気を使う。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・働いている間、時間制限無く預かってくれる施設の充実。(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・子育てするにも保育所の確保。子供の用事で仕事を早退しないとならないので、そこを理解してもらえない社会にならないと無理。(女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・病児保育に対する支援(施設・人材)を充実させてほしい。保育所の定員(未満児)を増やす等して、保育所に入りやすくしてほしい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・病児保育の拡大。仕事をしながら育児する場合の生活のサポートをアドバイスや声をかけてもらいやすい環境。悩みを聞きやすい環境。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・育児休業中の給付金。一年以上でも補助があると休める。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・まだ子供がいない為、イメージがしにくい。実際にどのような支援等あるか分からず、仕事も続けたい為、子供を授かる前からの情報提供など欲しい。(女性 30 代、既婚者、子どもはいない)

### 【その他】

- ・県は何もしない方が良くと思う。民間に任せて税金の無駄はしないようにして欲しい。(男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・結婚しない、子どもがいない人への負担が増えるものはやめてほしい。(女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・低所得者でも、子供をもち平凡な生活ができる社会にしてほしい。(女性 30 代、既婚者、子どもはいない)
- ・低所得の為、子どもが欲しいがすぐには作れないこと。(女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない)
- ・お金が全てにかかりすぎ。これから生きて行くに不安。もっと給付金など、多くしてもらいたい。(男性 30 代、既婚者、子どもはいない)
- ・新規就労者だけでなく、再就労者への積極的な就職支援や就職先が求めるスキル獲得のための補助や斡旋強化による就労率の向上を期待。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・県と言うよりは国に！不妊治療費を保険適用に！金額が高過ぎて、お金の都合が取れず受けられない状況に。(男性 30 代、既婚者、子どもはいない)
- ・女親より、男親へ家事育児などの必要性を説く人がいたらいいと思う。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)

- 子育てがひと段落した主婦が何か手助け出来る環境を今後更に確立していくべきだと思う。（女性 40代、既婚者、子どもがいる）
- 地域の無駄な繋がりが多くて肝心のサポート支援などが伝わってこない。地区の役員等頻繁に回ってきて暮らしづらい。（男性 40代、既婚者、子どもがいる）

## 附属資料(調査票)

### 本調査

### 長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

このアンケートには年収についてうかがう内容が含まれています。

6月1日現在の状況でお答えください。

### 共通パート

#### (調査内容)

Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

Q2 あなたの年齢をお答えください。

	歳
--	---

Q3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

- |    |                      |   |
|----|----------------------|---|
| 1  | <u>&lt;佐久地域&gt;</u>  | 小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町        |
| 2  | <u>&lt;上小地域&gt;</u>  | 上田市、東御市、長和町、青木村   |
| 3  | <u>&lt;諏訪地域&gt;</u>  | 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村                                |
| 4  | <u>&lt;上伊那地域&gt;</u> | 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村                       |
| 5  | <u>&lt;飯伊地域&gt;</u>  | 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村 |
| 6  | <u>&lt;木曾地域&gt;</u>  | 上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村                                |
| 7  | <u>&lt;松本地域&gt;</u>  | 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村                        |
| 8  | <u>&lt;大北地域&gt;</u>  | 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村                                     |
| 9  | <u>&lt;長野地域&gt;</u>  | 長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村                    |
| 10 | <u>&lt;北信地域&gt;</u>  | 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村                              |
| 11 | この中にはない              |   |

Q4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1 現在、結婚(事実婚を含む)している | 3 結婚したことはない |
| 2 結婚していたが、現在は離・死別した |             |

独身者パート < Q 4 で 2、3 と回答した人に >

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q 5 あなたの両親と現在のあなたとの同居／別居についてうかがいます。(回答はそれぞれ1つ)

	同居	別居 (近居)	別居 (近居以外)	いない
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q 6 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1	すでに結婚する予定がある	4	いずれは結婚したい
2	すぐにも結婚したい	5	結婚するつもりはない
3	2・3年以内に結婚したい	6	わからない

Q 7 (Q 6 で 1～4 と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

1	お金を自由に使えるか	7	ファッションや食べ物の好みは制約されないか
2	職業を自由に選べるか	8	相手の両親とうまく付き合えるか
3	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	9	自由な人生設計ができるか
4	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	10	自分に子育てができるか
5	住む場所が制約されないか	11	その他 具体的に:( )
6	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	12	特に気になることはない

Q 8 (Q 6 で 1～4 と回答した人に)

あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目についてどの程度重視しますか。(回答はそれぞれ1つ)

	重視する	考慮する	あまり関係ない
相手の学歴	1	2	3
相手の職業	1	2	3
相手の収入などの経済力	1	2	3
相手の人から	1	2	3
相手の容姿	1	2	3
相手の家族構成・状況	1	2	3
共通の趣味の有無	1	2	3
自分の仕事に対する理解と協力	1	2	3
家事・育児に対する能力や姿勢	1	2	3

Q9 (Q6で2～5と回答した人に)

あなたが現在独身である理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 結婚するにはまだ若すぎるから	9 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない
2 結婚する必要性をまだ感じないから	10 結婚生活のための住居のめどがたたないから
3 仕事(または学業)に打ち込みたいから	11 子育てする自信がないから
4 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから	12 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
5 趣味や娯楽を楽しみたいから	13 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから
6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから	14 名字を変えたくないから
7 適当な相手にまだめぐり会わないから	15 その他 具体的に:( )
8 異性とうまく付き合えないから	16 これ以上理由はない

Q10 (Q6で2～4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

1 友人、職場の同僚や先輩に頼む
2 合コンに参加する
3 インターネットサイト・SNSを活用する
4 婚活パーティーに参加する
5 趣味のサークルに入る
6 お見合いをする
7 民間の結婚相談所に登録する
8 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する
9 その他 具体的に:( )
10 特に行っていない・行う予定はない

Q11 (Q6で2～4と回答した人に)

行政(県や市町村)に取り組んでほしい結婚支援は何ですか。あてはまるものをお答えください。

(回答は3つまで)

1 各種イベント等による出会いの場の提供
2 交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催
3 結婚に関する悩み相談
4 公的な結婚相談所によるお相手紹介
5 年齢、収入、学歴等、自分の希望する条件に合う相手を検索できるデータマッチングシステムの導入
6 民間の結婚相談所やインターネットサイトの登録料・会費の補助
7 結婚や住宅に関する費用の貸与や補助
8 結婚祝い金
9 若者の結婚を応援するようなPR活動の実施
10 安定した雇用機会の提供
11 長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進
12 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
13 その他 具体的に:( )
14 わからない
15 特になし

**既婚者パート** <Q4で1と回答した人に>

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

Q12 結婚したときのご夫婦の年齢をお答えください。

夫		歳
妻		歳

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q13 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。（回答は1つ）

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトやSNSで
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：( )
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

Q14 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（回答は2つまで）

1 年齢的に適当な時期だと感じた	6 結婚生活を送る収入の目途が立った、または結婚資金が用意できた
2 できるだけ早く一緒に暮らしたかった	7 友人や同世代の人たちの結婚
3 できるだけ早く子どもがほしかった	8 親や周囲のすすめ
4 子どもができた	9 その他 具体的に：( )
5 自分または相手の仕事の事情	

**共通パート**

【すべての方にうかがいます。】

Q15 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身  
(2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：( )
4 自営業主・家族従業員	

【現在、お仕事をお持ちの方にうかがいます。】

Q16 (Q15で1～4と回答した人に)

差し支えなければ、あなたの昨年の収入（年収）をお答えください。結婚されている方は、配偶者（パートナー）の収入（年収）もお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身  
(2) あなたの配偶者（パートナー）

1 なし	8 600万円台
2 1～99万円	9 700万円台
3 100万円台	10 800万円台
4 200万円台	11 900万円台
5 300万円台	12 1,000万円以上
6 400万円台	13 覚えていない・答えたくない
7 500万円台	



Q17

女性の場合：育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方はどれですか。（回答は1つ）

男性の場合：育児と仕事との関係で、あなたが理想とする配偶者（パートナー）の生き方は次のどれですか。（配偶者・パートナーがいない方は、いると仮定してお答えください。）  
（回答は1つ）

1 結婚も出産もせず、働き続ける	5 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
2 結婚はするが、出産しないで働き続ける	6 出産退職後は、育児に専念する
3 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける	7 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
4 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく	8 その他 具体的に：（ ）
	9 わからない

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q18 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

\*0人の場合「0」を入力してください。

(1) 現在の子どもの数	未就学児（0～6歳）	<input type="text"/>	人
	小学生（6～12歳）	<input type="text"/>	人
	中学生（12～15歳）	<input type="text"/>	人
	その他（15歳以上）	<input type="text"/>	人

(2) 理想の子どもの数  人

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に  
欲しい子どもの数（今いる子や妊娠中の子を含む）

(3) 実際に持つつもり（予定）の子どもの数  人

※今いる子や妊娠中の子を含む

【Q18で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q19 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。（回答はいくつでも）

1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2 家が狭いから
3 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から
7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8 健康面・体調面の理由から
9 家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから
10 家族（パートナー）が望まないから
11 自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから
12 その他 具体的に：（ ）
13 特に理由はない

【Q18 で理想の子ども数が 0 と回答した方にうかがいます】

Q20 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。(回答はいくつでも)

1 責任が重いとを感じるから	10 家が狭いから
2 子育てや教育にお金がかかりそうだから	11 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
3 保育サービスが充実していきそうにないから	12 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から
4 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	13 健康面・体調面の理由から
5 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	14 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
6 職場の協力や理解が得られそうにないから	15 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから
7 子どもがいる生活が想像できないから	16 親の介護が心配だから
8 自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから	17 子育てできる自信がないから
9 配偶者(パートナー)が子どもを望まないから	18 その他 具体的に:( )
	19 特に理由はない

【お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。】

Q21

女性の場合：1人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性の場合：1人目のお子さんが産まれたときの配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

(継続)

- 1 育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 2 育児休業を取得せず、継続して働いた(働いている、または働く予定である)

(無職・退職)

- 3 妊娠前から無職だった
- 4 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 5 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 6 子供が3歳になって以降に退職した
- 7 わからない・答えたくない

【仕事を辞めた方にうかがいます。】(Q21で4～6と回答した人に)

Q22 1人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。(回答は1つ)

- 1 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 2 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 3 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 4 子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- 5 その他 具体的に:( )
- 6 特にない

【お子さんが2人以上いるすべての方にかがいます。】

Q23

女性の場合：2人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性の場合：2人目のお子さんが産まれたときの配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

(継続)

- 1 育児休業を取得し、継続して働いた (働いている、または働く予定である)
- 2 育児休業を取得せず、継続して働いた (働いている、または働く予定である)

(無職・退職)

- 3 妊娠前から無職だった (1人目出産後、離職している場合を含む)
- 4 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 5 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 6 子どもが3歳になって以降に退職した
- 7 わからない・答えたくない

【仕事を辞めた方にかがいます。】(Q23で4～6と回答した人に)

Q24 2人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。(回答は1つ)

- 1 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 2 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 3 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 4 子どももつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった (なりそうだった)
- 5 その他 具体的に：( )
- 6 特にない

【お子さんをお持ちのすべての方にかがいます。】

Q25 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親と同居していましたか。

(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居(近居)	別居 (近居以外)	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の父親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q26 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんど なかった	ときどき あった	ひんぱんに あった	日常的に あった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4

Q27 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。（回答はいくつでも）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 産前・産後休業制度</li> <li>2 育児休業制度（男親）</li> <li>3 育児休業制度（女親）</li> <li>4 短時間勤務制度（男親）</li> <li>5 短時間勤務制度（女親）</li> <li>6 保育園（認可保育所）</li> <li>7 認証・認定保育施設（自治体が認証・認定した施設）</li> <li>8 認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）</li> <li>9 企業内保育所</li> <li>10 認可外保育施設</li> <li>11 ベビーシッター</li> <li>12 ファミリー・サポート・センター</li> <li>13 保育園・幼稚園などの一時預かり</li> <li>14 地域子育て支援センター</li> <li>15 幼稚園の未就園児親子登園</li> <li>16 その他の保育施設・サービス</li> <li>17 どれも利用しなかった</li> </ol> |
|---|

Q28 (Q27で2、3と回答した人に)

実際に取得した育児休業の期間と、理想の育児休業の期間をそれぞれお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。

※取得した期間が6ヶ月や1年の場合は、「0年6ヶ月」「1年0ヶ月」とお答えください。

＜男親の育児休業＞ (Q27で2と回答した人に)

(1) 実際に取得した (取得する予定) の育児休業期間 

--

 年 

--

 ヶ月

(2) 理想の育児休業期間 

--

 年 

--

 ヶ月

実際に取得した (取得する予定) の育児休業期間は、わからない・覚えていない

＜女親の育児休業＞ (Q27で3と回答した人に)

(3) 実際に取得した (取得する予定) の育児休業期間 

--

 年 

--

 ヶ月

(4) 理想の育児休業期間 

--

 年 

--

 ヶ月

実際に取得した (取得する予定) の育児休業期間は、わからない・覚えていない

Q29 (Q27で2と回答しなかった人、Q28で実際に取得した育休期間が理想より短かった人に)

男親が育児休業を取得しなかった、または理想の育児休業期間より実際に取得した期間が短い理由をお答えください。(回答はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 会社で育児休業制度が整備されていなかったから</li> <li>2 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった (会社や職場の理解がなかった) から</li> <li>3 休業取得による、所得減等の心配があったから</li> <li>4 残業の多い職場だったから</li> <li>5 休業前と同じ仕事や職場に復職できない (変化に対応できない) と思ったから</li> <li>6 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから</li> <li>7 配偶者 (パートナー) や家族からの後押しがなかったから</li> <li>8 会社での手続き等が煩雑でわかりづらかった、または制度について十分わかっていなかったから</li> <li>9 配偶者 (パートナー) や家族が家事・育児を担ってくれていたから</li> <li>10 そもそも取得をする必要性を感じていなかったから</li> <li>11 育児休業は男性ではなく、女性が取得するべきものだと思っていたから</li> <li>12 その他 具体的に：( )</li> <li>13 わからない・覚えていない</li> <li>14 子どもが3歳になるまでの間は働いていなかった</li> </ol> |
|--|

Q30 (Q27で3と回答しなかった人、Q28で実際に取得した育休期間が理想より短かった人に)  
 女親が育児休業を取得しなかった、または理想の育児休業期間より実際に取得した期間が短い理由をお  
 答えください。(回答はいくつでも)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 会社で育児休業制度が整備されていなかったから                      |
| 2  | 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から     |
| 3  | 休業取得による、所得減等の心配があったから                       |
| 4  | 残業の多い職場だったから                                |
| 5  | 休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できない)と思ったから         |
| 6  | 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから              |
| 7  | 配偶者(パートナー)や家族からの後押しがなかったから                  |
| 8  | 会社での手続き等が煩雑でわかりづらかった、または制度について十分わかっていなかったから |
| 9  | 配偶者(パートナー)や家族が家事・育児を担ってくれていたから              |
| 10 | そもそも取得をする必要性を感じていなかったから                     |
| 11 | その他 具体的に：( )                                |
| 12 | わからない・覚えていない                                |
| 13 | 子どもが3歳になるまでの間は働いていなかった                      |

【現在結婚(事実婚を含む)されている方にうかがいます。】

Q31 あなた方ご夫婦の現実の分担と、理想の分担をそれぞれお答えください。

(1) 現在の <b>家事</b> の分担	夫：	<input type="text"/>	%	妻：	<input type="text"/>	%
(2) 理想の <b>家事</b> の分担	夫：	<input type="text"/>	%	妻：	<input type="text"/>	%
(3) 現在の <b>育児</b> の分担	夫：	<input type="text"/>	%	妻：	<input type="text"/>	%
(4) 理想の <b>育児</b> の分担	夫：	<input type="text"/>	%	妻：	<input type="text"/>	%

※(3)(4)は子どもがいる人のみを対象。

【すべての方にうかがいます。】

Q32 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はいくつでも)

- (1) 聞いたことがあるもの  
 (2) 内容も含めて知っているもの

- |   |                       |    |                  |
|---|-----------------------|----|------------------|
| 1 | 長野県婚活支援センター           | 8  | いい育児の日(11月19日)   |
| 2 | 結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」 | 9  | 里親制度             |
| 3 | ながの子育て家庭優待パスポート       | 10 | 家庭の日(毎月第3日曜日)    |
| 4 | 信州やまほいく(信州型自然保育)      | 11 | イクボス・温かボス        |
| 5 | 信州こどもカフェ              | 12 | 聞いたことがあるものはない    |
| 6 | チャイルドライン              | 13 | 内容も含めて知っているものはない |
| 7 | 児童相談所全国共通ダイヤル189      |    |                  |

Q33 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。  
 (例：近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい など)

自由記述



## **長野県民の結婚・出産・子育てに関する調査報告書**

平成30年10月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス [shoushika@pref.nagano.lg.jp](mailto:shoushika@pref.nagano.lg.jp)